

第4次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第3期宇都宮市介護保険事業計画の概要

高齢者数などの見通し

■高齢者人口の推移

・高齢者人口 平成16年 約7万5千人 → 平成22年 約9万1千人 **1万6千人の増加**

・高齢化率 平成16年 16.4% → 平成22年 19.7% **3.3ポイントの上昇**

■介護保険における要介護認定者数の推移

・認定者数 平成16年 約1万3千人 → 平成22年 約1万5千人 **2千人の増加**

■世帯構造の変化(国勢調査より)

・高齢者夫婦世帯 平成7年 約5千4百世帯 → 平成12年 約7千8百世帯 **2千4百世帯の増加**

・高齢者単身世帯 平成7年 約5千5百世帯 → 平成12年 約8千世帯 **2千5百世帯の増加**

高齢者を取り巻く社会環境などの変化

■社会状況の変化

- 高齢者の価値観やニーズの多様化・複雑化
- ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加
- 高齢者の交通事故や高齢者をターゲットとした犯罪の増加
- 介護保険制度の改正

高齢者の現状・ニーズ

■高齢者を対象としたアンケート調査の主な結果は次のとおりです。住み慣れた地域での生活の継続志向や趣味・就労などの生きがい活動への参加意欲が高まっています。

- 近所付き合いの状況 約33%が「仲の良い人と行き来している」, 約31%が「会えば親しく話をする」と回答
- 住まいの状況 約86%が「持家・一戸建」と回答
- 今後、暮らしたい場所 約80%が「現在の場所」と回答
- 生きがいを感じること 約37%が「趣味の活動」, 約23%が「仕事」と回答

高齢者のためのまちづくりの課題

■社会状況の変化や高齢者アンケート調査、現在行われている施策・事業の評価などを踏まえた課題は次のとおりです。

- 健康づくりや介護予防の充実・強化
- 生きがいづくりや社会参加の支援の充実
- 身近な地域での相談・支援・サービス供給体制の充実・強化
- 高齢者が住みやすい住宅や、でかけやすい地域・まちの整備

計画の推進にあたって

■高齢者の多様なニーズに対応するため、次のように事業を展開します。

○身近な地域での事業展開

事業内容や効果、利用者の状況などにより、小・中学校区や連合自治会単位など個々のサービスにふさわしい単位を設定し事業を展開します。

○市民、関係機関と市の協働による事業展開

市民、関係機関(ボランティア、NPO、民生委員、社会福祉協議会、自治会、地域包括支援センター、まちづくり推進協議会など)及び市が連携の強化を図り、地域ぐるみで高齢者を支え合う仕組みをつくり、協力しながら事業を展開します。

計画の内容は 高齢者のためのまちづくりの課題に対応し、本市の目指すべき高齢社会の実現のため、下記のとおり基本理念を掲げ、さらに、基本理念を具体化するため、4つの基本目標を定め、各種施策・事業に積極的に取り組みます。

◆◆◆基本理念◆◆◆

健康で生きがいを持ち、自立した生活を送ることができる、活力ある長寿社会の実現

基本目標1 健康ではつらつとした生活の実現

高齢期においても健康で充実した生活を送ることができるよう、生活習慣を改善し健康を増進する一次予防を推進するとともに、疾病の早期発見・治療を図ります。また、寝たきり状態にならないように、介護予防事業を推進します。

主な事業

●健康づくり実践活動の推進

一人ひとりが日常的な健康づくりに取り組むとともに、健康づくりの活動の輪が地域に広がっていくよう、「健康づくり推進組織」を連合自治会単位で設立します。(地区組織数・17年度:17か所⇒22年度:37か所)

●健康診査の実施

疾病の早期発見・早期治療を目的に、基本健康診査や各種がん検診などの健康診査を実施します。(基本健康診査受診率・17年度:29.0%⇒22年度:35.0%)

基本目標2 生きがいのある生活の実現

生涯にわたり交流の場を広げ、学習・文化・スポーツなどの社会活動に自らの意思で積極的に生きがいをもって参加できるよう、環境を整備します。

主な事業

●高齢者外出支援事業の推進

高齢者の外出を促進するため、移動手段として公共交通機関であるバスを手軽に利用できるよう、高齢者外出支援事業専用バスの購入を助成します。(利用人数・17年度:6,300人⇒22年度:7,500人)

●高齢者スポーツ用広場補助事業の実施

高齢者が身近な場所で気軽にスポーツが楽しめるよう、スポーツ用広場の整備を補助します。(補助件数・17年度:3件⇒22年度:4件)

基本目標3 安心して自立した生活の実現

何らかの支援が必要な高齢者に対して、介護保険サービスはもとより、在宅・施設福祉サービスをこれまで以上に充実します。また、地域の住民・団体や企業、市がそれぞれの責任と役割をもち、高齢者を支えていく体制を整えます。

主な事業

●介護保険事業の推進

介護を必要とする高齢者が、できる限り住み慣れた家庭や地域で自立した生活を送れるよう、介護保険事業を推進します。

●ひとり暮らし高齢者等の安心ネットワークシステムの構築

ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、日常的な安否確認や急病・災害などの緊急時に適切に対応するため、地域における見守り体制と公的サービスを組み合わせたシステムを構築します。

●認知症高齢者対策の推進

近年、認知症高齢者が増加していることから、認知症の早期発見・早期対応の推進や専門的なケア体制整備など、認知症高齢者対策を体系的・総合的に取り組みます。

基本目標4 快適で安全安心な生活の実現

高齢者が住み慣れた地域社会で自立し、安心して日常生活や社会生活を送れるよう、高齢者を思いやる心をはぐくむ「こころのバリアフリー」や、積極的な社会参画を促進するため、生活環境のバリアフリーを一体的に推進します。

主な事業

●道路のバリアフリーの推進

高齢者をはじめとするすべての市民の移動の円滑化を図るため、道路の段差解消などのバリアフリーを計画的に進めます。(道路の段差解消箇所数・17年度:826か所⇒22年度3,440か所)

●居住環境の整備

高齢者の在宅の日常生活を支えるため、居室や浴室等の改修に要する費用の一部を負担する「高齢者にやさしい住環境整備の補助事業」を推進します。(補助件数・17年度:56件⇒22年度:77件)

計画の特色

高齢者が住み慣れた地域社会の中で、健康で生きがいをもちながら、安心して生活を送ることができるまちの実現を目指し、

- 身近な地域におけるきめ細かな施策・事業の展開 → (介護保険推進上の「日常生活圏域」の設定など)
 - 包括的・連続的なケア体制 → (地域包括支援センター創設に伴う切れ目のないケア体制)
 - 認知症対策の推進 → (早期発見・早期治療等に向けた総合的・体系的な取り組み)
- を確立する計画とします。

第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の策定に係る アンケート調査について

平成20年7月3日
宇 都 宮 市
(保健福祉部高齢福祉課)

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の策定に先立ち、高齢者の健康づくりや生きがいがづくり、各種保健福祉サービスの利用意向等に関する意識調査を行い、本市の高齢者福祉施策の推進に関する方向性を検証するため、アンケート調査を実施した。

(2) 調査の概要

- ① 調査地域 宇都宮市全域
- ② 調査対象
 - ・ 高齢者調査（65歳以上の要介護認定を受けていない市民2,000人）
 - ・ 若年者調査（満40歳以上65歳未満の市民1,200人）
- ③ 抽出方法 住民基本台帳から単純無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送法
- ⑤ 調査期間 平成20年3月14日～31日
- ⑥ 調査項目
 - ・ 現行計画の施策体系に基づき、関連する事項の現状及びニーズを把握するため、調査項目を設定した。
 - ・ 前回質問項目を精査し、真に計画策定に必要な項目のみとした。
 - ・ 前回と同じ質問項目で、経年変化を追うものの他、社会情勢等の変化により、今回の計画に反映させるために、新たな質問項目を追加した。

ア 高齢者調査（全26問）

- ・ 回答者属性（性別、年齢、居住地域、世帯の状況、職業）
- ・ 外出・就労・生きがいがづくりについて
- ・ 住まいについて
- ・ 地域とのかかわり等について
- ・ 各種保健福祉サービスの情報入手状況・認知度・利用意向等について
- ・ 介護保険について（制度の認知度、保険料の負担感など）

イ 若年者調査（全 12 問）

- ・ 回答者属性（性別，年齢，居住地，世帯の状況，職業）
- ・ 老後の就労の意思や生きがいづくりについて
- ・ 高齢者の介護について
- ・ 各種保健福祉サービスの認知度等について
- ・ 介護保険について（制度の認知度，保険料の負担感など）

（3）回収結果

① 高齢者調査

標本数	有効回答数	有効回答率
2, 000	1, 278	63.9%

② 若年者調査

標本数	有効回答数	有効回答率
1, 200	485	40.4%

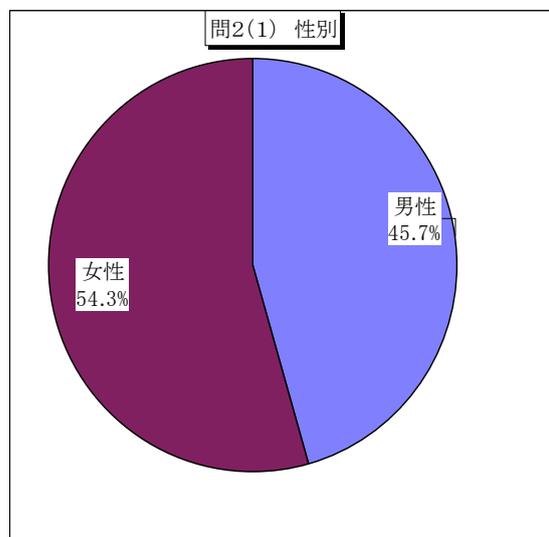
2 高齢者保健・福祉に関するアンケート調査結果

I 高齢者調査【対象：65歳以上】

【問2】以下の各質問について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

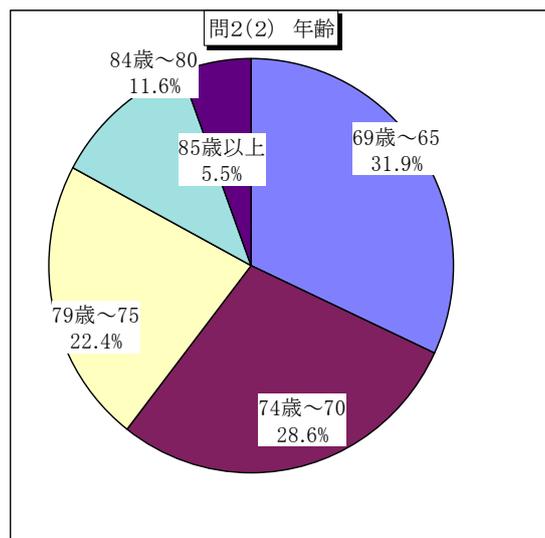
(1) 性別

選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
男性	578	45.7%	939	46.5%
女性	687	54.3%	1082	53.5%
無回答	13	-	27	-
合計	1278	100.0%	2048	100.0%



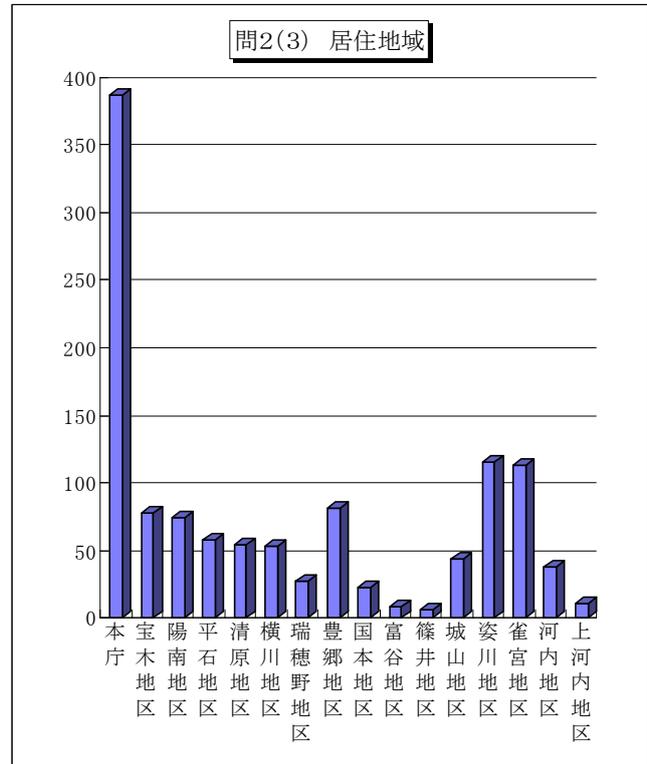
(2) 年齢

選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
65～69歳	404	31.9%	664	32.8%
70～74歳	362	28.6%	627	31.0%
75～79歳	284	22.4%	422	20.8%
80～84歳	147	11.6%	215	10.6%
85歳以上	70	5.5%	97	4.8%
無回答	11	-	23	-
合計	1278	100.0%	2048	100.0%



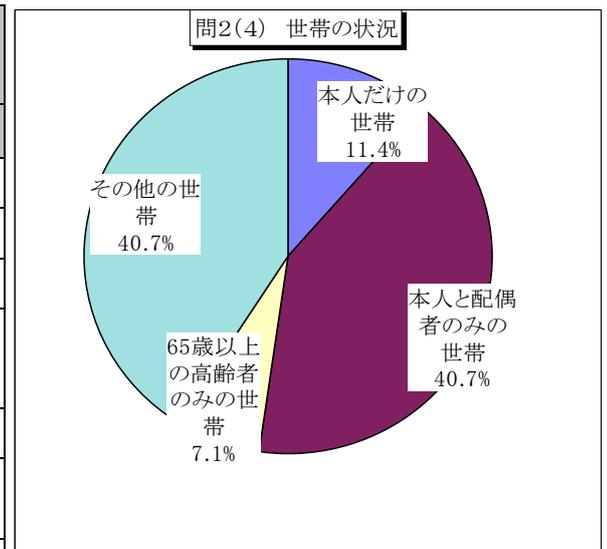
(3) 居住地域

選択項目	人数	構成比
本庁	386	32.9%
宝木地区	78	6.6%
陽南地区	74	6.3%
平石地区	58	4.9%
清原地区	55	4.7%
横川地区	53	4.5%
瑞穂野地区	28	2.4%
豊郷地区	81	6.9%
国本地区	23	2.0%
富谷地区	9	0.8%
篠井地区	6	0.5%
城山地区	44	3.8%
姿川地区	116	9.9%
雀宮地区	113	9.6%
河内地区	38	3.2%
上河内地区	11	0.9%
無回答	105	-
合計	1278	100.0%



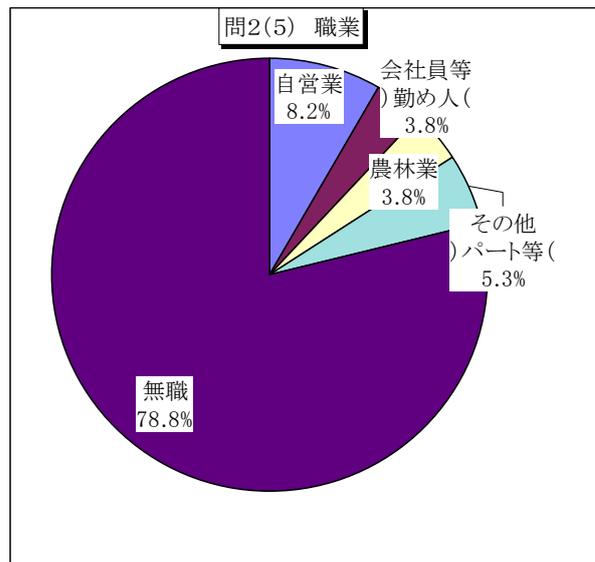
(4) 世帯の状況

選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
本人だけの世帯	142	11.4%	226	11.9%
本人と配偶者のみ世帯	507	40.7%	854	44.9%
高齢者のみ世帯	89	7.1%		
本人とその他の高齢者のみの世帯	-	-	44	2.3%
その他の世帯	507	40.7%	779	40.9%
無回答	33	-	145	
合計	1278	100.0%	2048	100.0%



(5) 職業

選択項目	人数	構成比
自営業	103	8.2%
会社員等（勤め人）	48	3.8%
農林業	48	3.8%
その他（パート等）	67	5.3%
無職	988	78.8%
無回答	24	-
合計	1278	100.0%



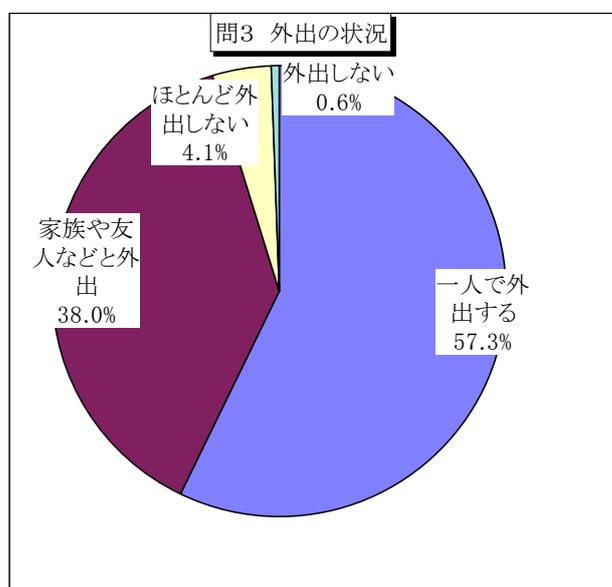
【問3】あなたの外出の状況についておたずねします。(主にあてはまるもの1つに○を)

○ 平成20年度調査結果

選択項目	人数	構成比
一人で外出する	702	57.3%
家族や友人などと外出する	466	38.0%
ほとんど外出しない	50	4.1%
外出しない	7	0.6%
無回答	53	-
合計	1278	100.0%

○平成17年度調査結果

選択項目	人数	構成比
自ら積極的に外出する	1552	82.4%
家族や友人など, 付き添えの方がいれば外出する	245	13.0%
家族や友人など, 付き添えの方がいてもほとんど外出しない	30	1.6%
外出しない	57	3.0%
不明	164	-
合計	2048	100.0%

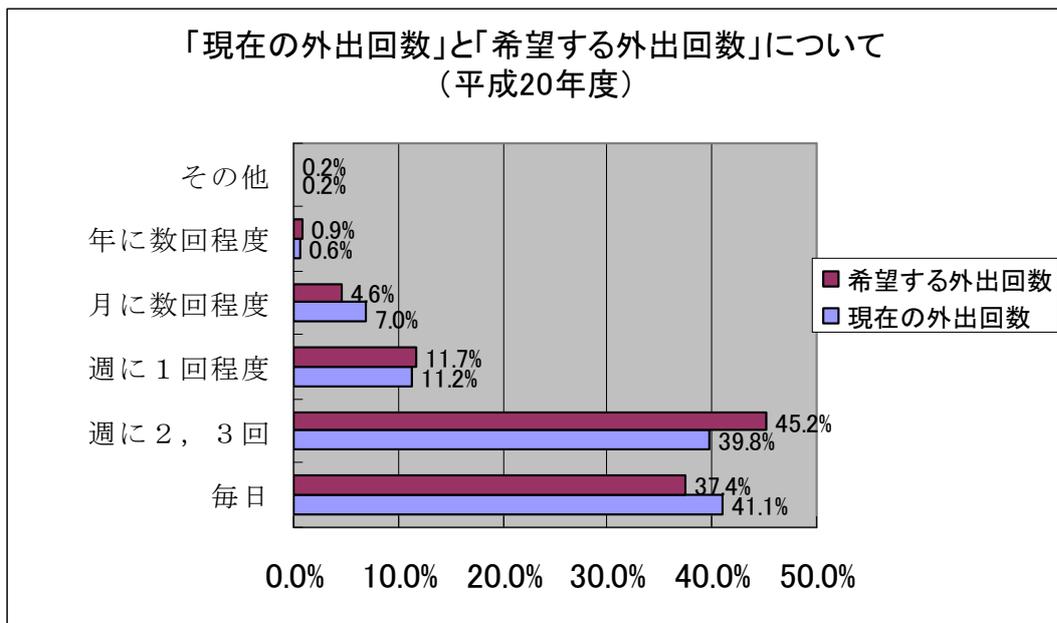


- ・ 外出の状況については、今回調査では「一人で外出する（57.3%）」「家族や友人などと外出する（38.0%）」となっており、95%以上の高齢者が外出している。
- ・ 前回調査結果でも、「自ら積極的に外出する（82.4%）」、「家族や友人など、付き添えの方がいれば外出する（13.0%）」となっており、95%以上の高齢者が日常的に外出している。

【問4】現在の外出回数や希望する外出回数についてあてはまるものに○をつけてください。

選択項目	平成20年度調査結果			
	現在の外出回数		希望する外出回数	
	人数	構成比	人数	構成比
毎日	494	41.1%	237	37.4%
週に2, 3回	478	39.8%	286	45.2%
週に1回程度	135	11.2%	74	11.7%
月に数回程度	84	7.0%	29	4.6%
年に数回程度	7	0.6%	6	0.9%
その他	3	0.2%	1	0.2%
無回答	58	-	633	-
合計	1259	100.0%	1266	100.0%

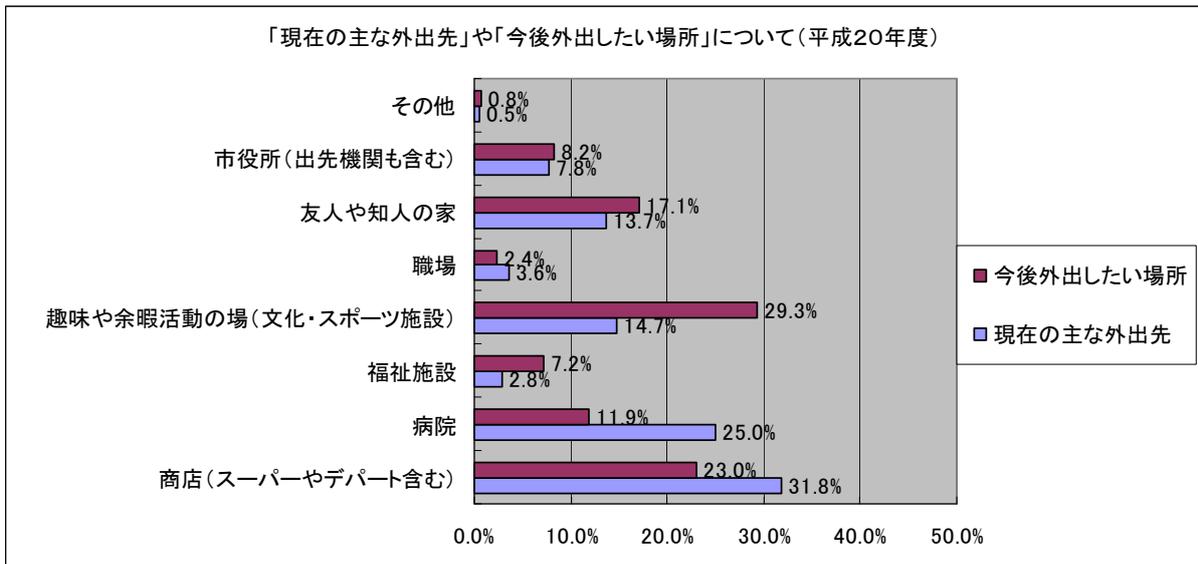
平成17年度調査結果			
現在の外出回数		希望する外出回数	
人数	構成比	人数	構成比
897	47.9%	211	43.0%
640	34.2%	204	41.5%
136	7.3%	32	6.5%
134	7.2%	33	6.7%
37	2.0%	4	0.8%
28	1.5%	7	1.4%
176	-	1557	-
2048	100.0%	2048	100.0%



- ・ 高齢者の現在の外出回数については、「毎日外出している」割合が41.1%と最も多く、「週に2, 3回」が39.8%の順になっている。
- ・ 一方、希望する外出回数については、「週に2, 3回」が最も多く、45.2%となっている。
- ・ 前回調査結果でも、「毎日外出している」割合が最も多くなっており、同様の結果となっている。

【問5】現在の主な外出先や、今後外出したい場所について（該当するものすべて）

選択項目	平成20年度調査結果				平成17年度調査結果			
	現在の主な外出先		今後外出したい場所		現在の主な外出先		今後外出したい場所	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
商店（スーパーやデパート含む）	1027	31.8%	315	23.0%	1543	32.4%	193	20.7%
病院	807	25.0%	163	11.9%	1092	22.9%	93	10.0%
福祉施設	92	2.8%	99	7.2%	108	2.2%	98	10.5%
趣味や余暇活動の場（文化・スポーツ施設）	475	14.7%	402	29.3%	681	14.3%	253	27.2%
職場	117	3.6%	33	2.4%	185	3.8%	19	2.0%
友人や知人の家	441	13.7%	234	17.1%	674	14.1%	161	17.3%
市役所（出先機関も含む）	253	7.8%	113	8.2%	281	5.9%	77	8.2%
その他	17	0.5%	11	0.8%	186	3.9%	35	3.7%
無回答	45	-	659	-	-	-	-	-
合計	3274	100.0%	2029	100.0%	4750	100.0%	929	100.0%



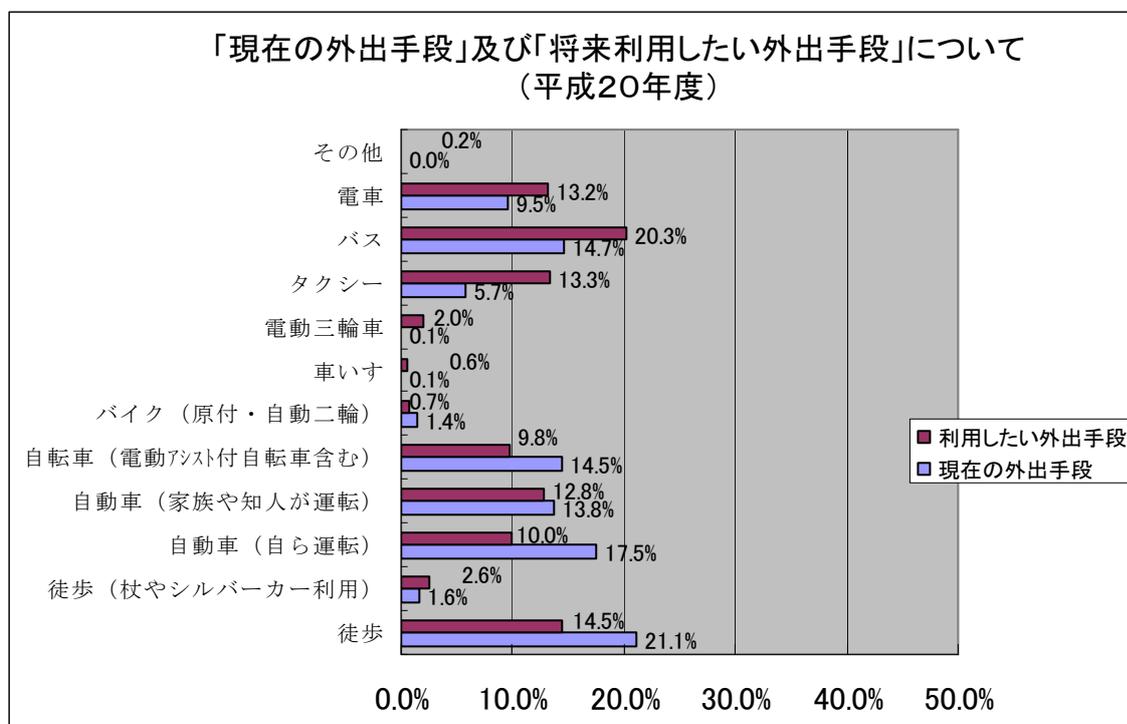
【その他の記述】

・「旅行・温泉」「散歩」「畑」「ボランティア活動」「図書館」「銀行」など

- ・ 現在の主な外出先としては、「商店（31.8%）」「病院（25.0%）」の割合が多くなっているが、今後の外出したい場所としては「趣味や余暇活動の場（29.3%）」となっていることから、趣味などのために外出したいと考えている高齢者が多いと思われる。

【問6】外出する際の手段、現在の外出手段及び将来利用したい外出手段について（該当するものすべてに○を）

選択項目	平成20年度調査結果				平成17年度調査結果			
	現在の外出手段		利用したい外出手段		現在の外出手段		利用したい外出手段	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
徒歩	730	21.1%	270	14.5%	1049	22.3%	168	19.3%
徒歩(杖やシルバーカー利用)	55	1.6%	49	2.6%	77	1.6%	17	1.9%
自動車(自ら運転)	607	17.5%	186	10.0%	786	16.7%	108	12.4%
自動車(家族や知人が運転)	479	13.8%	237	12.8%	568	12.0%	110	12.6%
自転車(電動アシスト付自転車含む)	502	14.5%	182	9.8%	734	15.6%	102	11.7%
バイク(原付・自動二輪)	50	1.4%	13	0.7%	77	1.6%	35	4.0%
車いす	2	0.1%	11	0.6%	9	0.1%	5	0.5%
電動三輪車	3	0.1%	37	2.0%	13	0.2%	8	0.9%
タクシー	197	5.7%	247	13.3%	256	5.4%	55	6.3%
バス	509	14.7%	377	20.3%	726	15.4%	160	18.4%
電車	330	9.5%	246	13.2%	391	8.3%	99	11.3%
その他	1	0.0%	3	0.2%	15	0.3%	2	0.2%
無回答	15	-	584	-	-	-	-	-
合計	3480	100.0%	2442	100.0%	4701	100.0%	869	100.0%



- ・ 現在の外出手段としては、杖やシルバーカーの利用も含めると「徒歩」が22.7%と最も多くなっているが、今後利用してみたい外出手段では、「バス(20.3%)」、「タクシー(13.3%)」、「電車(13.2%)」の割合が高くなっており、公共交通の利用を考えている人が多い。
- ・ 高齢者の外出手段として、公共交通が利用しやすいよう整備していく必要がある。

【問7】外出する際に不便に感じることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

選択項目	人数	構成比
バスの停留所や駅が遠い、バスの本数が少ないなど、公共交通機関が利用しにくい	389	29.5%
道路や歩道の幅が狭い、道路に段差や傾斜があり通行しにくい	311	23.6%
施設（建物）が使いづらい（段差や階段が多い、トイレが使いにくいなど）	71	5.4%
特にない	542	41.1%
その他	7	0.5%
無回答	123	-
合計	1443	100.0%

【その他の記述】

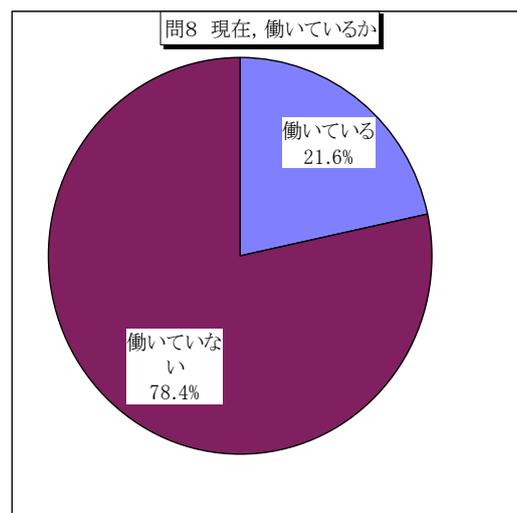
・歩道に障害物(自転車など)が多い、バス代が高い、駐車場が少ない

- ・ 外出する際に不便に感じることについては、「バスの利用に関して不便を感じている」人が約30%あり、バス利用に関しての何らかの改善が必要である。
- ・ また、道路は「段差や傾斜があり通行しにくい」という回答が約25%近くあり、さらに道路のバリアフリー化や段差解消に努める必要である。

○ 仕事や生きがいについて

【問8】あなたは現在、働いていますか。（○は1つ）

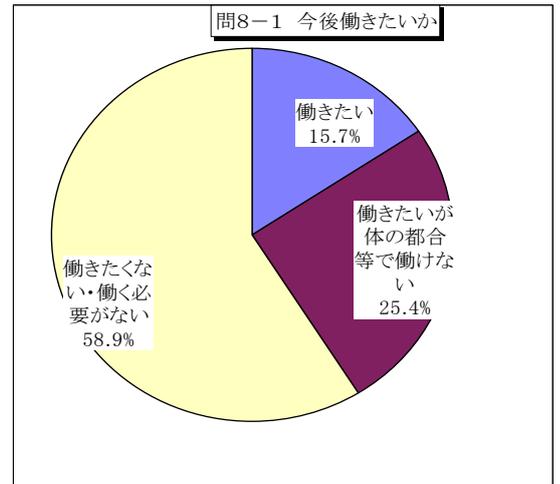
選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
働いている	268	21.6%	493	25.6%
働いていない	971	78.4%	1433	74.4%
無回答	39	-	122	-
合計	1278	100.0%		



- ・ 高齢者の就労状況については、「働いていない(78.4%)」が「働いている(21.6%)」を大きく上回っている。
- ・ 前回調査から、働いている人の割合が4ポイント減った。

【問8-1】問8で、「働いていない」と回答した方におたずねします。今後、働きたいとお考えですか。（〇は1つ）

選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
働きたい	141	15.7%	266	20.2%
働きたいが体の都合等で働けない	229	25.4%	331	25.1%
働きたくない・働く必要がない	530	58.9%	723	54.8%
無回答	71	-	728	-
合計	971	100.0%	2048	100.0%



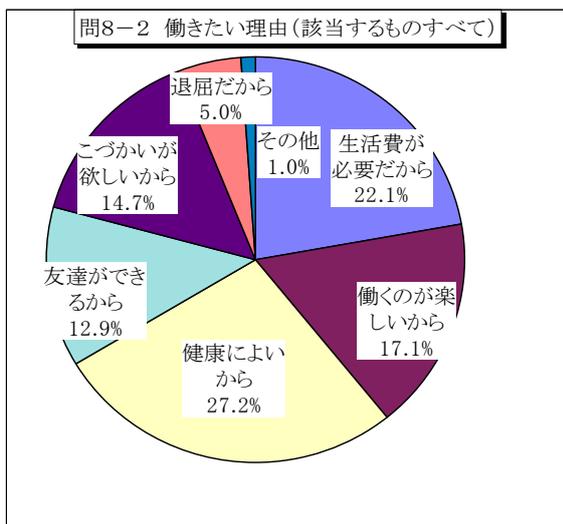
- ・ 高齢者の就労意欲については、1割以上の方が「今後も働きたい」と考えている。
- ・ 今後とも、就労の場の提供や相談機能の充実などに努める必要がある。

【問8-2】問8で、「働いている」または問8-1で「働きたい」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇を）

選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
生活費が必要だから	215	22.1%	278	18.0%
働くのが楽しいから	166	17.1%	264	17.1%
健康によいから	264	27.2%	479	31.0%
友達ができるから	125	12.9%	153	9.9%
こづかいが欲しいから	143	14.7%	211	13.6%
退屈だから	49	5.0%	84	5.4%
その他	10	1.0%	72	4.6%
無回答	811	-	-	-
合計	1783	100.0%	1541	100.0%

【その他の記述】

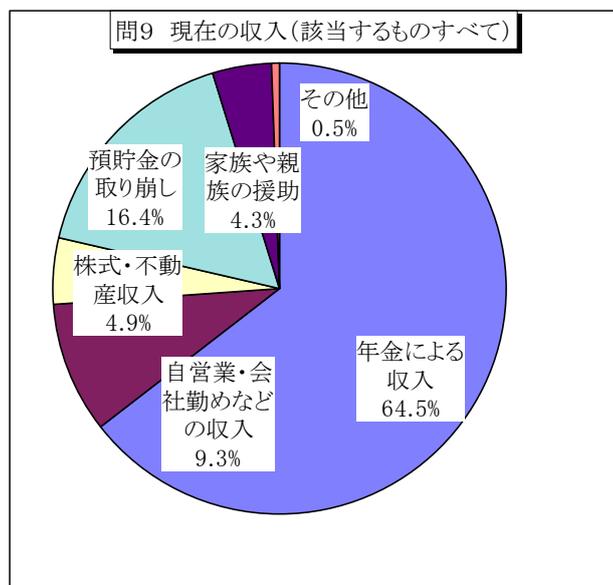
- ・ 農家だから、仕事をしなくてはならない。
- ・ 自営業だから。



- ・ 高齢者の就労希望の理由としては、「健康によいから（27.2%）」となっており、自らの健康への関心が強いことがわかる。
- ・ 今回調査結果では、「生活費が必要だから」という理由が前回調査結果より約4ポイント上昇している。

【問9】あなたは、現在どのような収入がありますか。(あてはまるものすべてに○を)

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
年金による収入	1188	64.5%	1795	65.0%
自営業・会社勤めなどの収入	172	9.3%	276	9.9%
株式・不動産収入	90	4.9%	159	5.7%
預貯金の取り崩し	303	16.4%	325	11.7%
家族や親族の援助	79	4.3%	162	5.8%
その他	10	0.5%	44	1.5%
無回答	39	-	-	-
合計	1881	100.0%	1881	100.0%



- ・ 高齢者の収入状況については、「年金による収入（64.5%）」が最も多く、「預貯金の取り崩し（16.4%）」、「自営業・会社勤めなどの収入（9.3%）」の順となっている。
- ・ 前回調査結果でも「年金による収入（65.0%）」が最も多く、同様の結果となっており、年金が高齢者の収入の柱であることが分かる。

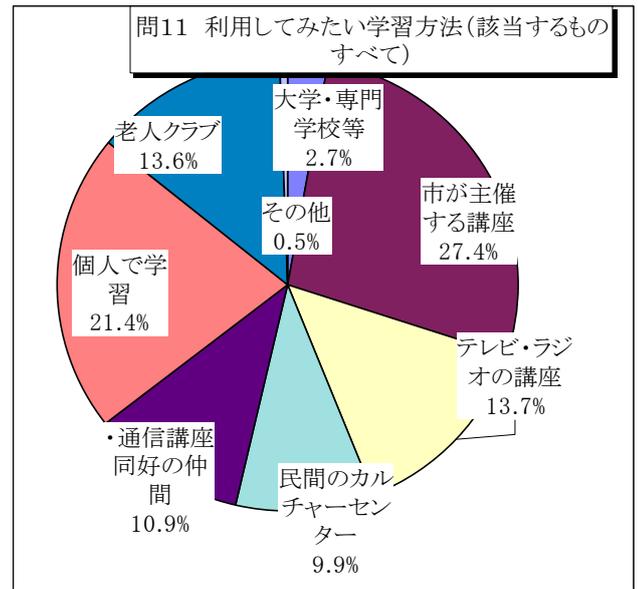
【問10】あなたが現在やっていることで、生きがいを感じるのとはどんなことですか。また、今後やってみたいことはどんなことですか。

選択項目	平成20年度調査結果				平成17年度調査結果			
	現在の生きがい		今後やってみたい事		現在の生きがい		今後やってみたい事	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
学習や教養を高めるための活動	267	15.3%	217	16.9%	294	9.7%	173	11.7%
スポーツ（健康づくりの運動なども含む）	373	21.4%	249	19.4%	289	9.5%	109	7.3%
仕事・働くこと	244	14.0%	99	7.7%	476	15.7%	131	8.8%
ボランティア活動	139	8.0%	157	12.2%	187	6.1%	178	12.0%
老人クラブの活動	124	7.1%	74	5.8%	188	6.2%	100	6.7%
町内会や自治会の活動・世話	126	7.2%	61	4.7%	158	5.2%	62	4.1%
気のあった人たちとのグループ活動	343	19.7%	214	16.7%	426	14.1%	213	14.4%
青少年の教育や健全育成に関する活動	23	1.3%	45	3.5%	47	1.5%	73	4.9%
地域の児童等に関わる活動（子ども会・PTAなど）	38	2.2%	54	4.2%	—	—	—	—
まちづくりや環境保全などに関する活動	56	3.2%	110	8.6%	64	2.1%	127	8.5%
趣味の活動	—	—	—	—	769	25.4%	273	18.4%
その他	8	0.5%	5	0.4%	120	3.9%	38	2.5%
無回答	340	—	660	—	—	—	—	—
合計	2081	100.0%	1945	100.0%	3018	100.0%	1477	100.0%

- ・ 高齢者が現在やっていることで、生きがいを感じることについては、「スポーツ（健康づくりの運動なども含む）（21.4%）」が最も多く、「気のあった人たちとのグループ活動（19.7%）」、「学習や教養を高めるための活動（15.3%）」の順となっている。
- ・ また、前回調査では「スポーツ（健康づくりの運動なども含む）」が約1割であったが、今回調査では、20%を超えており、高齢者の健康への関心が強くなったことがわかる。

【問 1 1】あなたは、下記の学習方法のうち、利用してみたいものはどんなことですか。

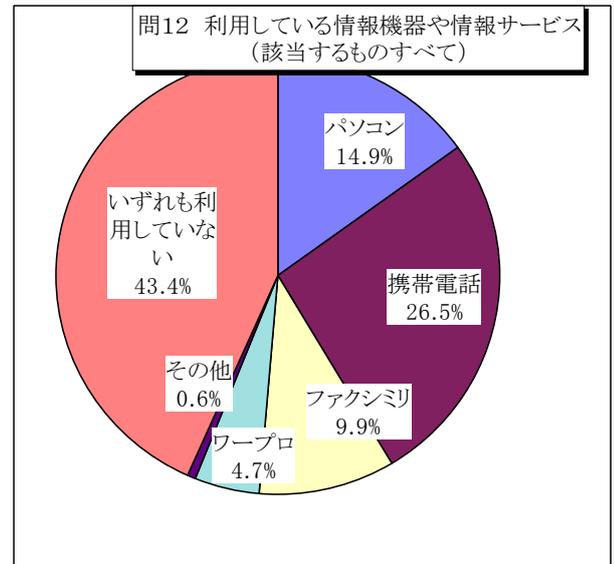
選択項目	平成 2 0 年度 調査結果		平成 1 7 年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
大学・専門学校等	38	2.7%	19	1.5%
市が主催する講座	390	27.4%	289	23.5%
テレビ・ラジオの講座	195	13.7%	283	23.0%
民間のカルチャーセンター	141	9.9%	7.8	6.3%
通信講座・同好の仲間	155	10.9%	7.8	6.3%
個人で学習	304	21.4%	280	22.7%
老人クラブ	193	13.6%	112	9.1%
その他	7	0.5%	93	7.5%
無回答	407	-	816	-
合計	1830	100.0%	2048	100.0%



- ・ 高齢者の学習方法については、前回調査結果同様に「市が主催する講座（27.4%）」を利用したいが最も多くなっている。
- ・ 今後とも、行政と民間学習機関との適切な役割分担のもと、高齢者のニーズを把握し、魅力ある講座を開催していく必要がある。

【問 1 2】あなたは、どのような情報機器や情報サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○を)

選択項目	平成 2 0 年度 調査結果		平成 1 7 年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
パソコン	213	14.9%	213	11.3%
携帯電話	379	26.5%	318	17.0%
ファクシミリ	141	9.9%	169	9.0%
ワープロ	67	4.7%	106	5.6%
その他	9	0.6%	95	5.0%
いずれも利用していない	620	43.4%	968	51.7%
無回答	120	-	-	-
合計	1549	100.0%	1869	100.0%



- ・ 高齢者の情報機器や情報サービスを利用状況については、「利用していない（43.4%）」が最も多く、「携帯電話（26.5%）」、「パソコン（14.9%）」の順位となっている。
- ・ 前回調査結果と比較をすると、「利用していない」と答えた人が、8.3ポイント減少しており、情報化が進んでいることが推測される。
- ・ また、携帯電話の利用が9.5ポイント上昇していることから、高齢者についても携帯電話の普及が進んでいる。

【問12-1】問12で「1. パソコン」を利用されている方におたずねします。
ご自身は、どのような操作ができますか。

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
インターネット	150	31.5%	155	28.5%
電子メール	114	23.9%	120	22.1%
ワープロソフト	132	27.7%	146	26.9%
表計算ソフト	79	16.6%	92	16.9%
その他	1	0.2%	29	5.3%
無回答	74	-		
合計	550	100.0%	542	100.0%

- ・ 高齢者のパソコンの利用方法については、「インターネット（31.5%）」が最も多く、「ワープロソフト（27.7%）」、「電子メール（23.9%）」の順位となっている。
- ・ 前回調査結果についても、同様の順位の結果となっているが、各々の項目のポイントが上昇しており、情報化が進んでいることが推測される。

○ 住まいについて

【問13】あなたの現在のお住まいの形態はどれですか。（あてはまるもの1つを）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
持家（一戸建て）	1121	89.3%	1765	90.0%
持家（マンション等の共同住宅）	17	1.4%	27	1.4%
借家（一戸建て）	47	3.7%	65	3.3%
借家（アパート、マンション等の共同住宅）	31	2.5%	41	2.1%
公営住宅	25	2.0%	38	1.9%
高齢者世話付住宅	2	0.2%	2	0.1%
間借り	6	0.5%	4	0.2%
その他	6	0.5%	19	1.0%
無回答	23	-	87	-
合計	1278	100.0%	2048	100.0%

- ・ 高齢者の住まいの形態については、「持家（一戸建て）（89.3%）」が最も多く、「借家（一戸建て）（3.7%）」「借家（アパート、マンション等の共同住宅）（2.5%）」を大きく引き離している。
- ・ 前回の調査結果との比較については、今回の調査結果は、住まいの形態に大きな変化は見られておらず、依然として、高齢者の持ち家の比率は高い水準にある。

【問14】現在のお住まいで、不便を感じたり、困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○を)

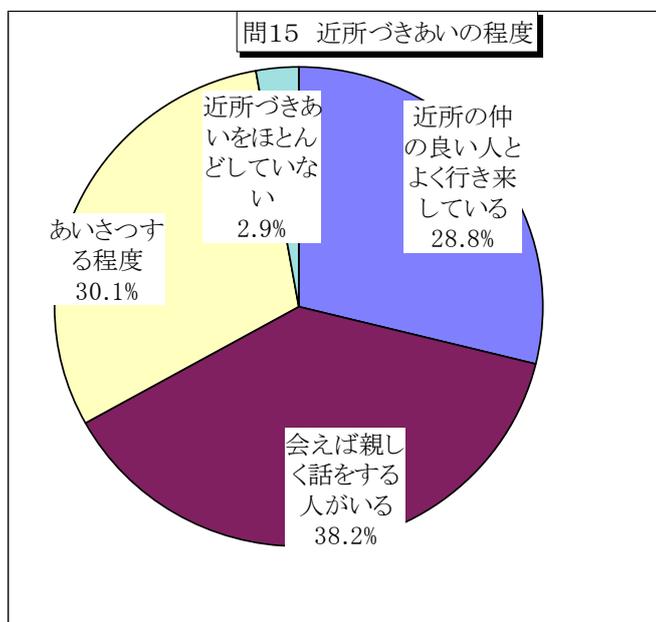
選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
特にない	598	40.0%	897	41.0%
玄関まわりの段差で困っている	77	5.2%	119	5.4%
廊下や居室などの段差で困っている	37	2.5%	67	3.0%
屋内の階段の昇り降りが大変で困っている	70	4.7%	104	4.7%
浴室や浴槽が使いにくくて困っている	47	3.1%	68	3.1%
トイレが使いにくい	48	3.2%	48	2.1%
風呂がない	3	0.2%	2	0.0%
エレベーターがない	18	1.2%	24	1.0%
住宅が老朽化している	175	11.7%	244	11.1%
環境が悪い(日当たり, 風通し, 騒音など)	76	5.1%	133	6.0%
家賃や住宅ローンが高い	32	2.1%	49	2.2%
立ち退きをせまられている	3	0.2%	4	0.1%
交通の便が悪い	172	11.5%	137	6.2%
近くに散歩に出るようなところがない	76	5.1%	73	3.3%
ひとりで自宅の外を歩くのが危険である	52	3.5%	47	2.1%
その他	10	0.7%	168	7.7%
無回答	190	-	-	-
合計	1684	100.0%	2184	100.0%

- ・ 高齢者が住まいで不便を感じたり困っていることについては、「特にない(40.0%)」が最も多く、不便や困っている具体的な内容については、「住宅が老朽化している(11.7%)」「交通の便が悪い(11.5%)」の順となっている。

○ 地域とのかかわりなどについて

【問15】あなたは、近所づきあいをどの程度されていますか。（○は1つ）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
近所の仲の良い人とよく行き来している	358	28.8%	676	35.7%
会えば親しく話をする人がいる	474	38.2%	649	34.3%
あいさつする程度	374	30.1%	515	27.2%
近所づきあいをほとんどしていない	36	2.9%	54	2.9%
無回答	36	-	154	
合計	1278	100.0%	2048	100.0%



- ・ 高齢者の地域との関わりのうち近所との付き合いについては、「仲の良い人と行き来している」「会えば親しく話をする人がいる」が6割以上となっている。
- ・ 一方、「近所づきあいをほとんどしていない（2.9%）」は、前回同様3%未満となっているが、「あいさつする程度（30.1%）」は前回比べて、2.9ポイント上昇する結果となった。

【問16】何かあったときに頼りになる方はいますか。(該当するものすべてに○)

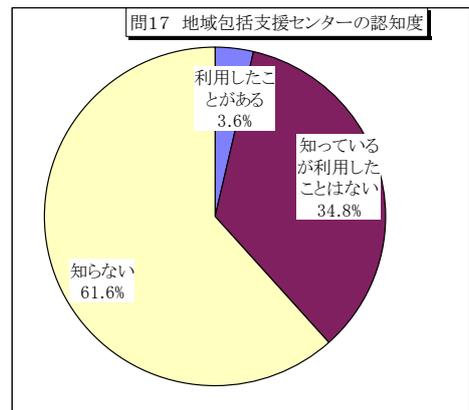
選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
配偶者	822	25.6%	1193	23.7%
子ども・こどもの家族	926	28.9%	1520	30.2%
その他の親戚	389	12.1%	689	13.7%
近所の人	365	11.4%	601	11.9%
友人	296	9.2%	413	8.2%
民生委員や自治会の人	74	2.3%	112	2.2%
ホームヘルパー	8	0.2%	17	0.3%
医師	257	8.0%	360	7.1%
市役所の職員	22	0.7%	39	0.7%
地域包括支援センターの職員	28	0.9%	-	-
在宅介護支援センターの人	-	-	34	0.6%
その他	0	0.0%	10	0.1%
頼りになる人がいない	21	0.7%	32	0.6%
無回答	33	-	0	-
合計	3241	100.0%	2048	100.0%

- ・ 高齢者がいざという時に頼りになる人については、「子供・子供の家族(28.9%)」が最も多く、「配偶者(25.6%)」「その他の親戚(12.1%)」の順となり、これらを合わせると、家族や親戚が約7割となっている。

○ 保健・福祉サービスについて

【問17】あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

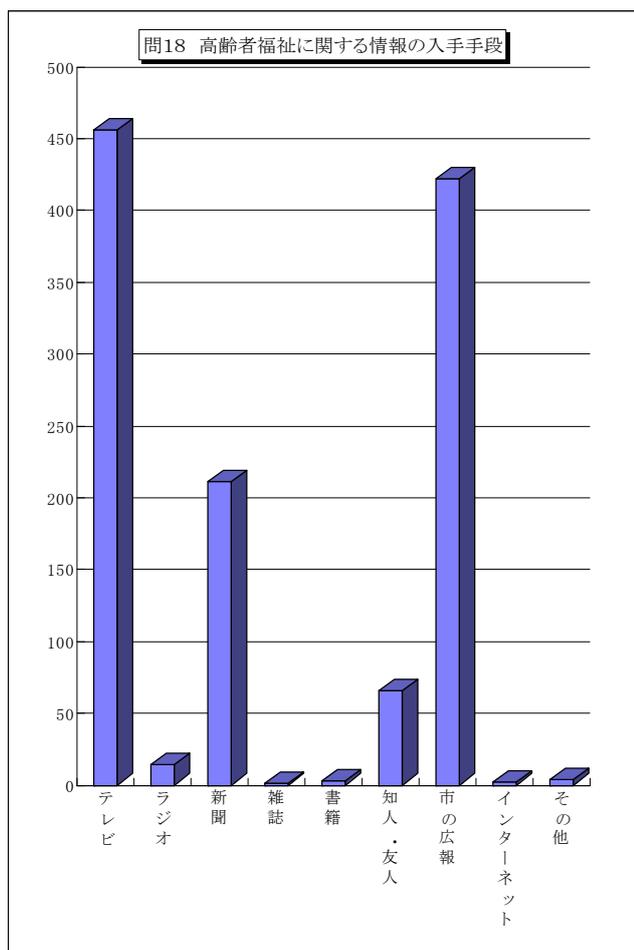
選択項目	人数	構成比
利用したことがある	44	3.6%
知っているが利用したことはない	423	34.8%
知らない	749	61.6%
無回答	62	-
合計	1278	100.0%



- ・ 地域包括支援センターの認知度については、「利用したことがある(3.6%)」と「知っているが利用したことはない(34.8%)」を合わせると、「知っている」が約4割になるのに対して、「知らない(61.6%)」が約6割となっている。
- ・ 平成18年度に新たに設置した「地域包括支援センター」であるが、地域の高齢者福祉の相談機能を担っているが、高齢者にその機能、役割等を十分に理解してもらう必要がある。

【問18】高齢者福祉に関する情報を主に何によって知りますか。一番多く利用しているものに○をつけてください。（○は1つ）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
テレビ	456	38.7%	658	35.8%
ラジオ	14	1.2%	10	0.5%
新聞	211	17.9%	302	16.4%
雑誌	1	0.1%	3	0.2%
書籍	3	0.3%	5	0.3%
知人・友人	66	5.6%	93	5.1%
市の広報	422	35.8%	739	40.2%
インターネット	2	0.2%	3	0.2%
その他	4	0.3%	25	1.4%
無回答	84	-	210	-
合計	1263	100.0%	1838	100.0%



- ・ 高齢者の福祉に関する情報収集の手段については、「テレビ（38.7%）」が最も多く、「市の広報（35.8%）」「新聞（35.8%）」の順になっている。
- ・ 前回調査では、市の広報が最も多かったが、今回は4.4ポイント減少しているが、情報収集の手段としては依然として高齢者に認知されている。
- ・ 「インターネット」の利用は少数であることがわかる。

【問19】宇都宮市では現在、高齢者の介護予防に関する取組として、以下のような事業を行っています。各サービスについて、それぞれあてはまるものすべてに○をつけて下さい。

選択項目	知っている		利用したことがある				今後利用したい	
			利用して満足 だった					
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
①介護予防教室	366	46.0%	48	6.0%	33	68.8%	349	43.8%
②訪問指導	310	59.4%	15	2.9%	9	60.0%	188	36.0%
③健康相談	295	50.4%	18	3.1%	9	50.0%	263	45.0%
④健康教育・講演会	214	45.7%	19	4.1%	9	47.4%	226	48.3%
⑤通所型介護予防事業	150	37.9%	6	1.5%	2	33.3%	238	60.1%
⑥介護予防手帳	106	34.8%	6	2.0%	2	33.3%	191	62.6%
⑦生活機能評価	118	33.9%	10	2.9%	3	30.0%	217	62.4%

- ・ 高齢者の介護予防に関する取り組みの認知度については、「訪問指導(59.4%)」「健康相談(50.4%)」がともに半数を超えているが、それ以外は、半数を下回る結果となっている。
- ・ 今後利用したい事業は、「介護予防手帳(62.6%)」「生活機能評価(62.4%)」「通所型介護予防事業(60.1%)」が6割を越えている。

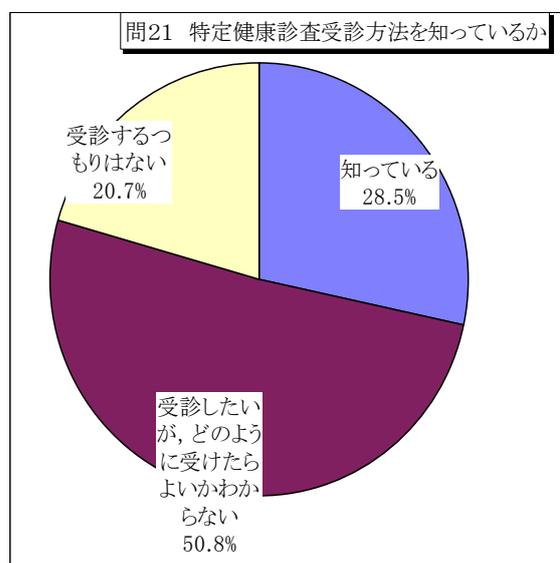
【問20】現在、宇都宮市では以下のような保健・福祉サービスを実施していますが、各サービスについて、それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

選択項目	知っている		利用したことがある				今後利用したい	
			利用して満足 だった					
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
①生きがい対応型デイサービス	427	68.3%	3	0.5%	2	66.7%	193	30.9%
②高齢者短期宿泊事業	383	64.0%	4	0.7%	1	25.0%	210	35.1%
③緊急通報システム	244	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	194	44.2%
④日常生活用具給付貸与事業	212	58.1%	0	0.0%	0	0.0%	153	41.9%
⑤高齢者にやさしい住環境整備事業	287	56.8%	6	1.2%	2	33.3%	210	41.6%
⑥高齢者無料入浴券の交付	159	62.1%	1	0.4%	1	100.0%	95	37.1%
⑦保険適用外はり、きゅう、マッサージ施術料の助成	246	39.5%	43	6.9%	36	83.7%	297	47.7%
⑧高齢者等ホームサポート事業	172	48.7%	1	0.3%	0	0.0%	180	51.0%
⑨高齢者専用バスカードの購入費助成	365	42.5%	97	11.3%	76	78.4%	321	37.4%
⑩健康に関するイベント	324	54.9%	34	5.8%	15	44.1%	217	36.8%
⑪地域で健康づくりをすすめるために活動や講習会	252	48.4%	29	5.6%	16	55.2%	224	43.0%

- ・ 高齢者に関する保健・福祉サービスの認知度については、11事業のうち7事業が5割を越えているが、4事業が5割に満たないことから、さらに高齢者へのサービスの周知を図る必要がある。

【問21】あなたは、「特定健康診査」（75歳以上の方は「健康診査」）の受診の方法をご存知ですか。（〇は1つ）

選択項目	人数	構成比
知っている	201	28.5%
受診したいが、どのように受けたらよいかわからない	359	50.8%
受診するつもりはない	146	20.7%
無回答	572	-
合計	1278	100.0%



- 平成20年度から実施している特定健診の認知度については、「知っている（28.5%）」が約3割であるが、「受診したいが、どのように受けたらよいかわからない（50.8%）」が5割以上もいることから、今後とも健診のしくみや特定健診の受け方、その内容について幅広く周知する必要がある。

【問22】以下の健診事業について、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

選択項目	ほぼ毎年受診している		受診したことがある		受診したことはないが、今後受診してみたい		受診するつもりはない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
①がん検診	326	31.3%	365	35.1%	251	24.1%	98	9.4%
②歯科健診	90	15.1%	119	20.0%	263	44.1%	124	20.8%
③肝炎ウイルス検診	51	8.3%	179	29.0%	248	40.1%	140	22.7%
④骨粗しょう症検診	58	11.6%	153	30.6%	198	39.6%	91	18.2%

- 高齢者の健診事業の実施状況については、「がん検診をほぼ毎年受診している（31.3%）」が約3割と最も多い状況である。
- 「受診したことはないが、今後受診してみたい」健診事業については、「歯科健診（44.1%）」となっており、市が実施する節目健診以外にも、高齢者が定期健診を受ける方策を、検討する必要がある。

【問23】現在、市で実施している健診事業をより受診しやすくするために、最も重要だと思うことは何ですか。（〇は1つ）

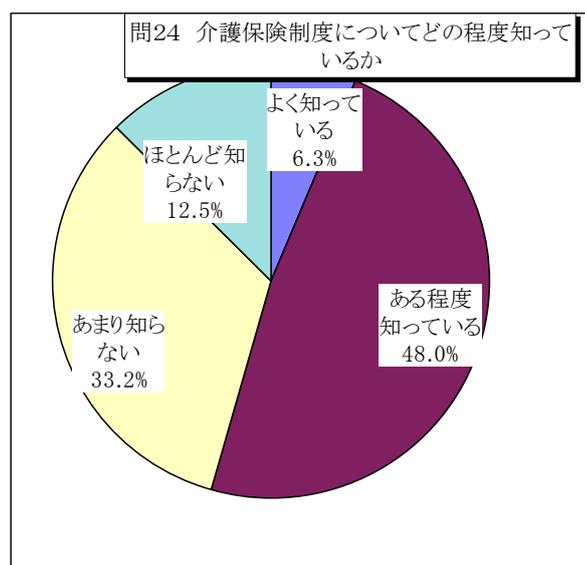
選択項目	人数	構成比
健康診査の受診方法等について、いつでも情報を得られること	299	27.9%
夜間や土日でも受診できること	189	17.7%
身近な場所で受診できること	288	26.9%
友達や家族と受診できること	10	0.9%
費用が手ごろであること	139	13.0%
子どもや介護が必要な家族をあずかってもらえる場所があること	20	1.9%
その他	1	0.1%
特になし	124	11.6%
無回答	197	-
合計	1267	100.0%

- ・ 高齢者の健診事業を受けやすくするための方策については、「健康診査の受診方法等について、いつでも情報を得られること(27.9%)」が最も多く、市民への情報提供の充実が最も重要であると思われる。
- ・ 次に、「身近な場所で受診できること(26.9%)」をあげていることから、集団検診以外に地域内の医療機関での健診機会の充実も重要である。

○ 介護保険制度について

【問24】介護保険制度について、どの程度知っていますか。（〇は1つ）

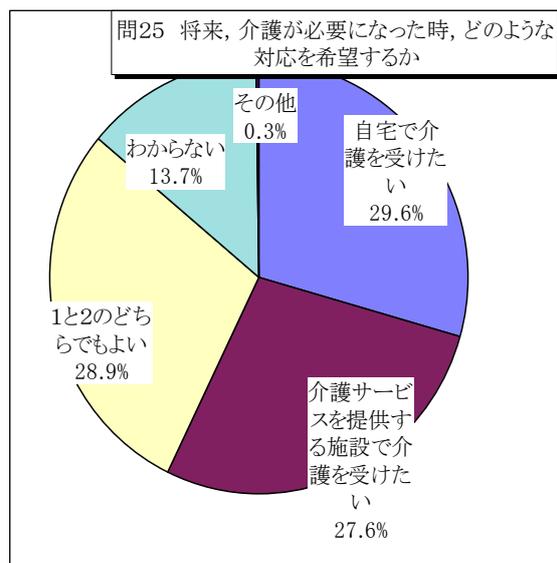
選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	76	6.3%	124	6.9%
ある程度知っている	577	48.0%	616	34.4%
あまり知らない	399	33.2%	-	-
少しは知っている	-	-	654	36.5%
ほとんど知らない	150	12.5%	397	22.2%
無回答	76	-	257	-
合計	1278	100.0%	2048	100.0%



- ・ 高齢者の介護保険制度の認知度について、「よく知っている(6.3%)」「ある程度知っている(48.0%)」を合わせると約半分の54%であることから、高齢者の2人に1人は介護保険を知っていると答えている。
- ・ 一方、「あまり知らない(33.2%)」「ほとんど知らない(12.5%)」を合わせると約45%となっており、更なる制度の周知を図る必要がある。

【問25】あなたは将来、介護が必要になったとき、どのような対応を希望しますか。（○は1つ）

選択項目	人数	構成比
自宅で介護を受けたい	355	29.6%
介護サービスを提供する施設で介護を受けたい	331	27.6%
1と2のどちらでもよい	347	28.9%
わからない	164	13.7%
その他	4	0.3%
無回答	69	-
合計	1270	100.0%

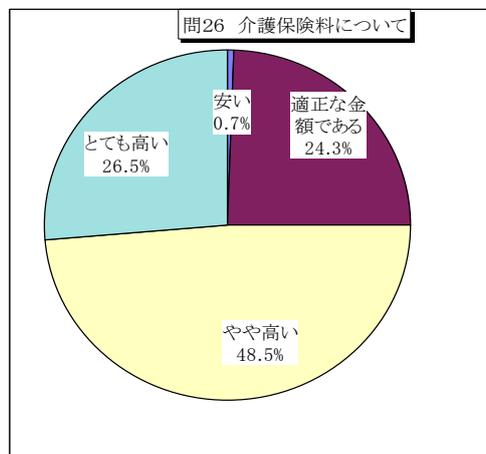


- ・ 高齢者が介護が必要になった時に、どのような対応を希望するかについては、「自宅で介護を受けたい(29.6%)」が最も多く、次に自宅と施設の「どちらでもよい(28.9%)」が多くなっている。

【問26】介護保険は、社会全体で介護を支える制度であり、40歳以上の方に応分の負担をいただいています。あなたは、現在の介護保険料についてどう思いますか。（○1つ）

○平成20年度調査結果

選択項目	人数	構成比
安い	8	0.7%
適正な金額である	284	24.3%
やや高い	567	48.5%
とても高い	310	26.5%
無回答	109	-
合計	1278	100.0%



○平成17年度調査結果

選択項目	人数	構成比
特に負担は感じない	222	14.1%
適正な負担である	346	22.0%
やや負担感がある	628	40.0%
負担が重いと感じる	374	23.8%
不明	478	-
合計	2048	100.0%

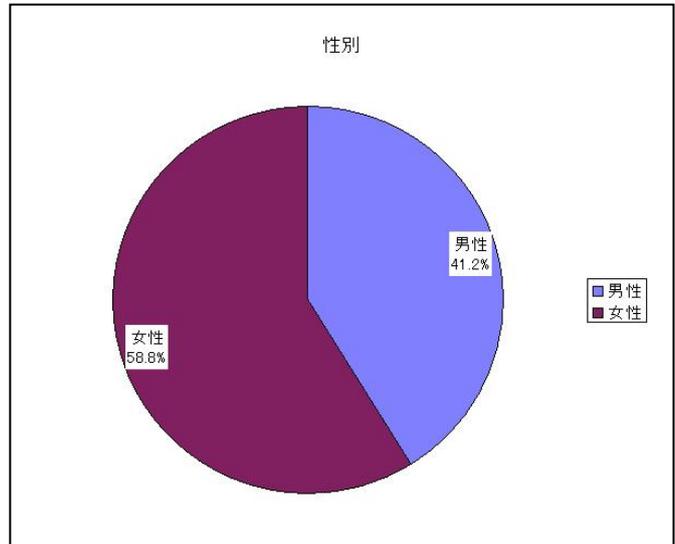
- ・ 介護保険料に関する高齢者の負担感については、「やや高い(48.5%)」が最も多く、「とても高い(26.5%)」「適正な金額である(24.3%)」の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「適正な金額である(24.3%)」が2ポイント増加しているものの、「やや高い(48.5%)」と感じる人の割合も8ポイント増加していることから、今後とも、介護保険制度の適正な運営に努めるとともに、制度に対する理解をさらに深める必要がある。

Ⅱ 若年者調査の結果【対象：40～64歳】

【問2】以下の各質問について、それぞれあてはまるものに○をつけて下さい。（○は1つ）

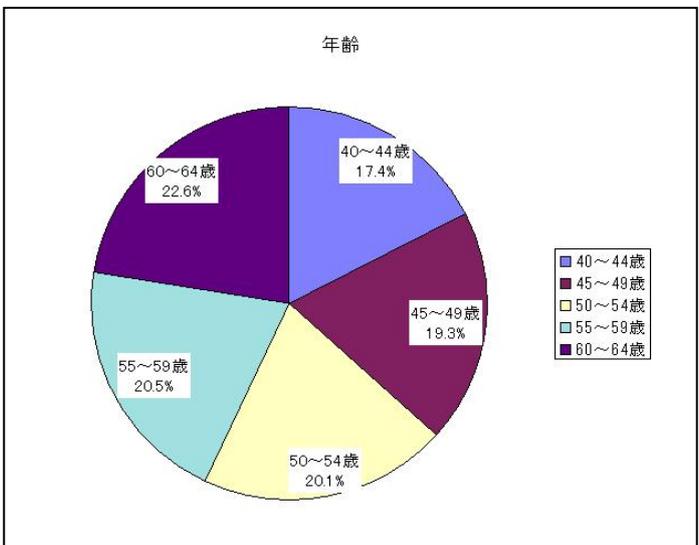
(1) 性別

選択項目	人数	構成比
男性	199	41.2%
女性	284	58.8%
無回答	2	—
合計	485	100.0%



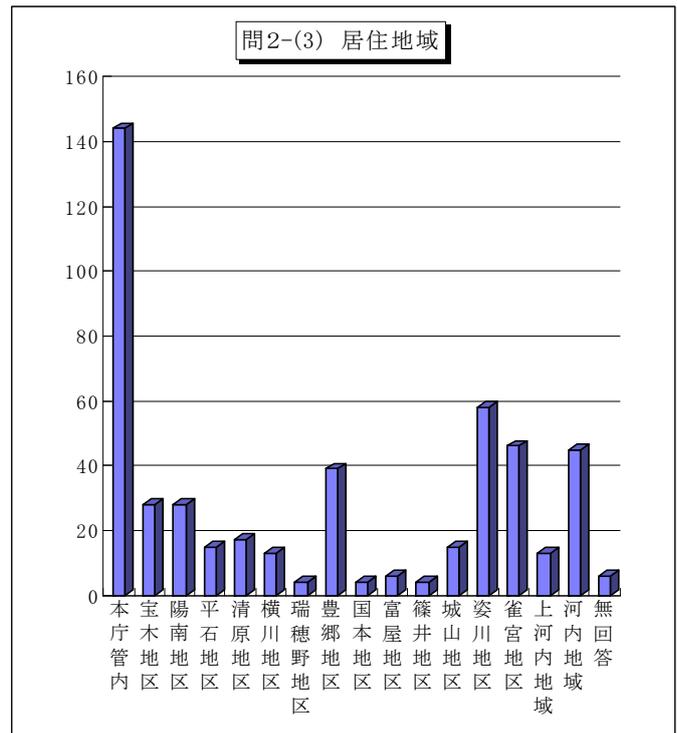
(2) 年齢

選択項目	人数	構成比
40～44歳	84	17.4%
45～49歳	93	19.3%
50～54歳	97	20.1%
55～59歳	99	20.5%
60～64歳	109	22.6%
無回答	3	—
合計	485	100.0%



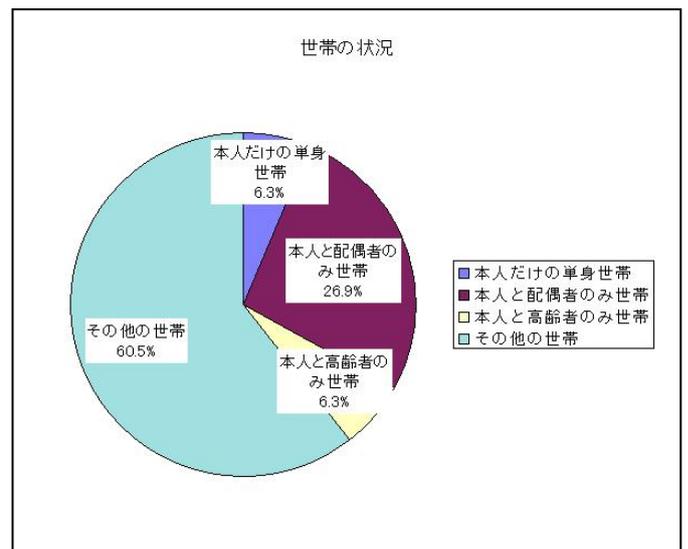
(3) 居住地域

選択項目	人数	構成比
本庁管内	144	29.7%
宝木地区	28	5.8%
陽南地区	28	5.8%
平石地区	15	3.1%
清原地区	17	3.5%
横川地区	13	2.7%
瑞穂野地区	4	0.8%
豊郷地区	39	8.0%
国本地区	4	0.8%
富屋地区	6	1.2%
篠井地区	4	0.8%
城山地区	15	3.1%
姿川地区	58	12.0%
雀宮地区	46	9.5%
上河内地域	13	2.7%
河内地域	45	9.3%
無回答	6	1.2%
合計	485	100.0%



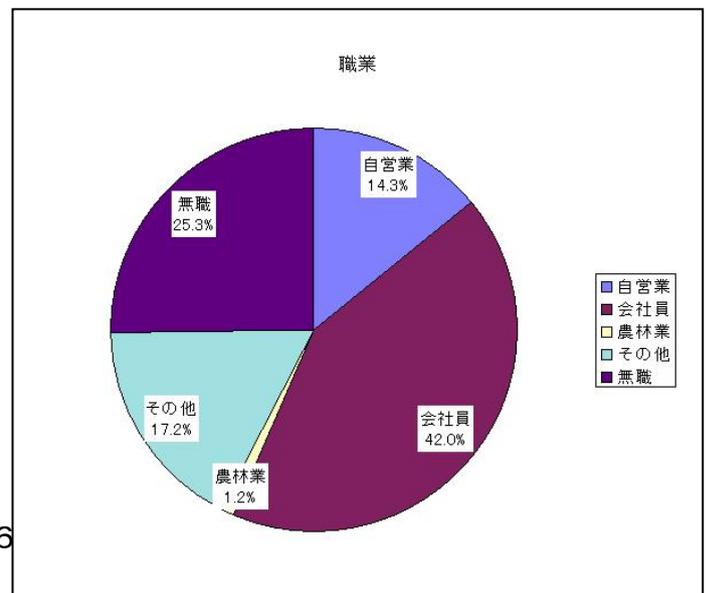
(4) 世帯の状況

選択項目	人数	構成比
本人だけの単身世帯	30	6.3%
本人と配偶者のみ世帯	129	26.9%
本人と高齢者のみ世帯	30	6.3%
その他の世帯	290	60.5%
無回答	6	-
合計	485	100.0%



(5) 職業

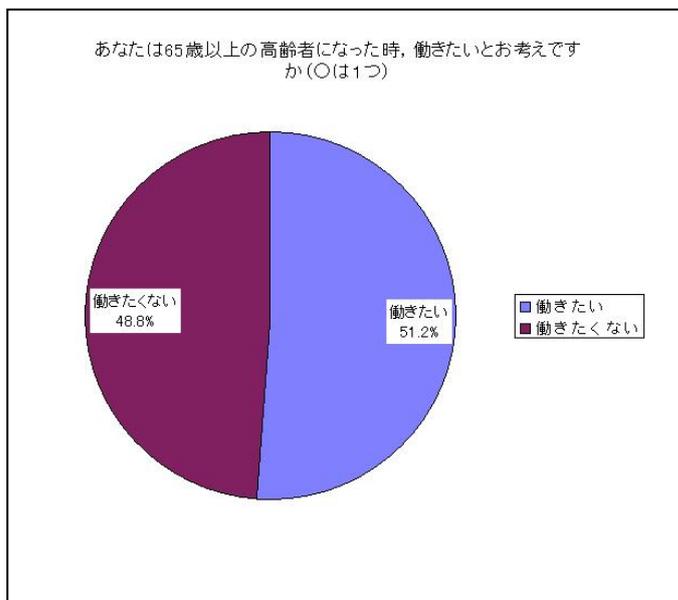
選択項目	人数	構成比
自営業	69	14.3%
会社員	203	42.0%
農林業	6	1.2%
その他	83	17.2%
無職	122	25.3%
無回答	2	-
合計	485	100.0%



○ あなたの老後のお仕事や生きがいについて

【問3】あなたは65歳以上の高齢者になった時、働きたいとお考えですか。（○は1つ）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
働きたい	240	51.2%	564	49.7%
働きたくない	229	48.8%	570	50.3%
無回答	16	-	25	-
合計	485	100.0%	1134	100.0%

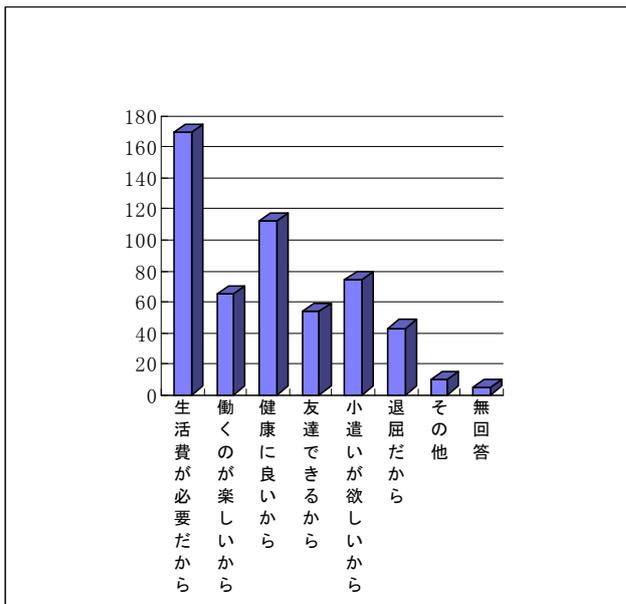


- ・ 65歳以上の高齢者になった時の就労希望については、「働きたい（51.2%）」と答えた人は、「働きたくない（48.8%）」と答えた人に比べて2.4ポイント上回っている。
- ・ 前回調査では、「働きたくない（50.3%）」が「働きたい（49.7%）」をわずかではあるが0.6ポイント上回った結果となっていたが、今回は「働きたい」が上回る結果となった。

【問3-1】問3で「1. 働きたい」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○をつけて下さい。)

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
生活費が必要だから	169	32.1%	302	26.0%
働くのが楽しいから	65	12.3%	173	14.9%
健康に良いから	112	21.3%	317	27.3%
友達できるから	54	10.2%	173	14.9%
小遣いが欲しいから	74	14.0%	98	8.4%
退屈だから	43	8.2%	208	17.9%
その他	10	1.9%	35	3.0%
無回答	5	-	-	-
合計	532	100.0%	1159	100.0%



【その他の記述】

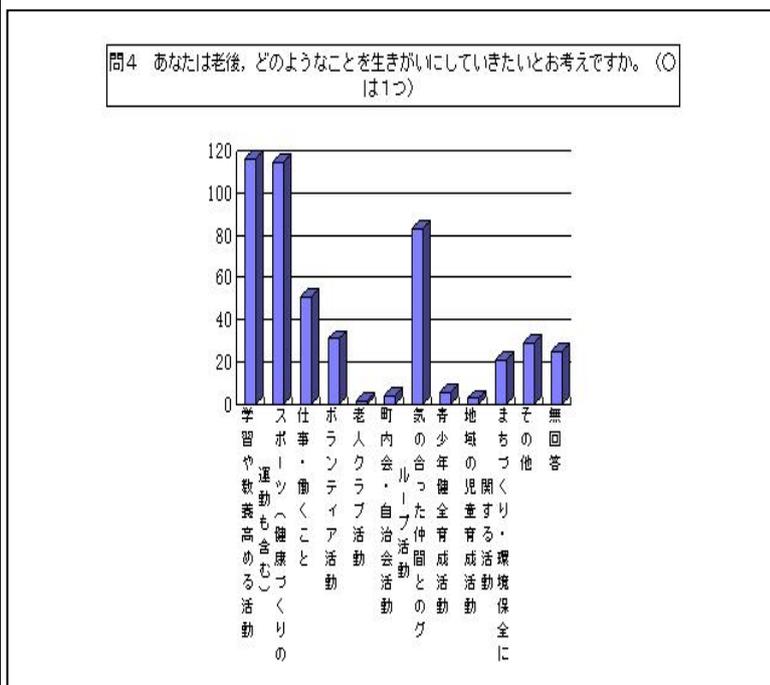
- ・ 世の中に関わっているという満足感
- ・ 地域社会への貢献
- ・ 働きたいが病気で働けない
- ・ 勤労意欲は心身ともよい
- ・ 農業をしたい
- ・ 家庭の負担のならない程度
- ・ 健康づくり
- ・ 住宅ローン
- ・ 税金が高すぎるから

- ・ 高齢者になった時に「働きたい」理由については、「生活費が必要だから (32.1%)」が最も多く、「健康に良いから (21.3%)」「小遣いがほしいから (14.0%)」の順となっている。
- ・ 前回調査では、「健康に良いから (27.3%)」「生活費が必要だから (26.0%)」「退屈だから (17.9%)」の順となっていたが、今回調査では、「生活費が必要だから」が最も多く前回調査より6.1ポイント上昇した。

【問4】あなたは老後、どのようなことを生きがいにしていきたいとお考えですか。（〇は1つ）

○ 平成20年度調査結果

選択項目	人数	構成比
学習や教養高める活動	116	25.2%
スポーツ(健康づくりの運動も含む)	114	24.8%
仕事・働くこと	51	11.1%
ボランティア活動	31	6.7%
老人クラブ活動	2	0.4%
町内会・自治会活動	4	0.9%
気の合った仲間とのグループ活動	83	18.0%
青少年健全育成活動	6	1.3%
地域の児童育成活動	3	0.7%
まちづくり・環境保全に関する活動	21	4.6%
その他	29	6.3%
無回答	25	-
合計	485	100.0%



【その他の記述】

旅行、マイペースな生活、家庭菜園・園芸、技術開発と農業開発、草花の手入れ・孫と旅行、趣味、孫の世話、自由な生活、家族の健康、仕事、海外への長期滞在、ピアノ

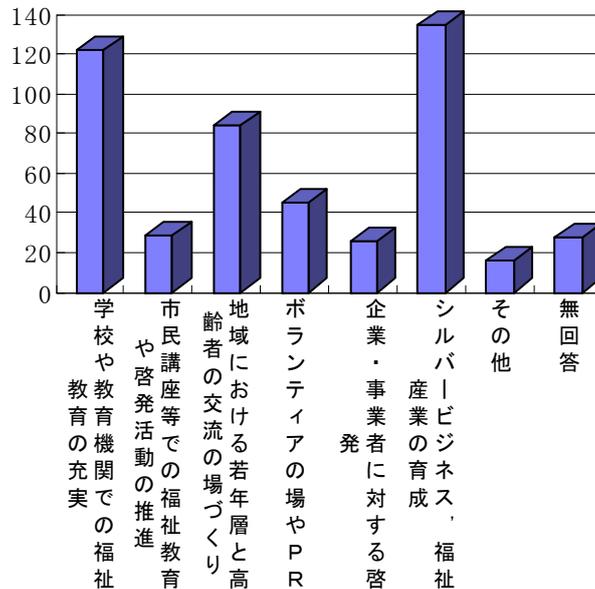
- ・ 老後の具体的な生きがいづくりについては、「学習や教養を高める活動（23.9%）」が最も多く、「スポーツ（23.5%）」「気の合った仲間とのグループ活動（17.1%）」の順となっている。
- ・ 一方で、「老人クラブ活動（0.4%）」が最も少なく、「地域の児童育成活動（0.7%）」「町内会・自治会活動（0.9%）」と、地域活動を希望する人の割合がとても少ない結果となっている。

【問5】高齢者の介護を支える人づくりについて、特にどのようなことが重要だと思いますか。

(○は1つ)

選択項目	平成20年度 調査結果		平成17年度 調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
学校や教育機関での福祉教育の充実	122	25.2%	445	38.3%
市民講座等での福祉教育や啓発活動の推進	29	6.0%	251	21.6%
地域における若年層と高齢者の交流の場づくり	84	17.3%	496	42.7%
ボランティアの場やPR	45	9.3%	339	29.2%
企業・事業者に対する啓発	26	5.4%	106	9.1%
シルバービジネス、福祉産業の育成	135	27.8%	390	33.6%
その他	16	3.3%	33	2.8%
無回答	28	5.8%	0	-
合計	485	100.0%	1159	100.0%

問5 高齢者の介護を支える人づくりについて、特にどのようなことが重要だと思いますか。(○は1つ)



- ・ 高齢者の介護を支える人づくりについては、「シルバービジネス、福祉産業の育成 (27.8%)」が最も多く、「学校や教育機関での福祉教育の充実 (25.2%)」「地域における若年層と高齢者の交流の場づくり (17.3%)」の順位となっている。
- ・ 前回調査では、「地域における若年層と高齢者の交流の場づくり (42.7%)」が最も多く、「学校や教育機関での福祉教育の充実 (38.3%)」「シルバービジネス、福祉産業の育成 (33.6%)」の順となっており、前回と順位の入替えはあったものの、上位の項目に変更はなかった。

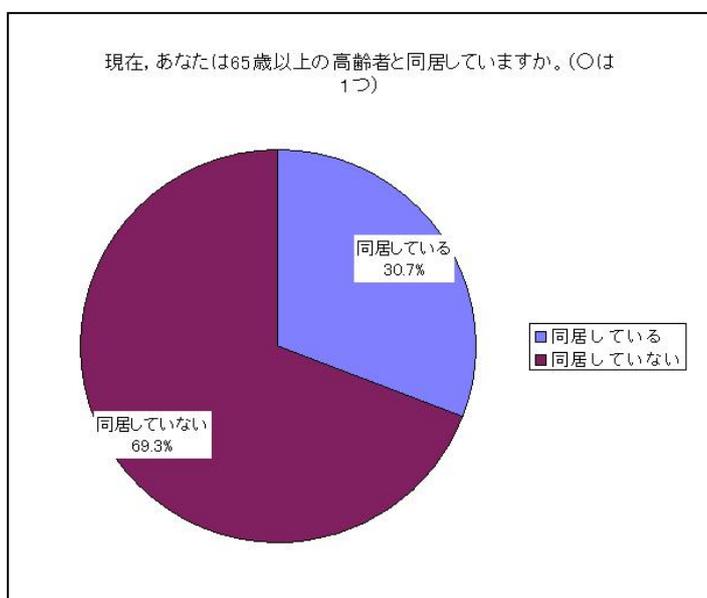
【その他の記述】

- ・ 元気高齢者が介護者を支える仕組みの構築
- ・ 幼児期からの家庭教育・家庭環境
- ・ 行政主導の積極的な介護
- ・ 学校行事等における強制的な高齢者との交流
- ・ 福祉現場における労働者のやる気の向上
- ・ 支援者に対する補償の充実
- ・ 介護保険料や税金の適正な利用
- ・ 介護者の地位向上や適正な労働者の賃金。介護職員の待遇改善
- ・ 介護の知識や理解
- ・ 困って入る時、手を差し伸べる。
- ・ 市による積極的な福祉教育
- ・ 幼少期からの家庭教育

○ 高齢者介護の現状やお考えについて

【問6】現在、あなたは65歳以上の高齢者と同居していますか。（○は1つ）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
同居している	145	30.7%	365	32.6%
同居していない	327	69.3%	755	67.4%
無回答	13	-	39	-
合計	485	100.0%	1120	100.0%



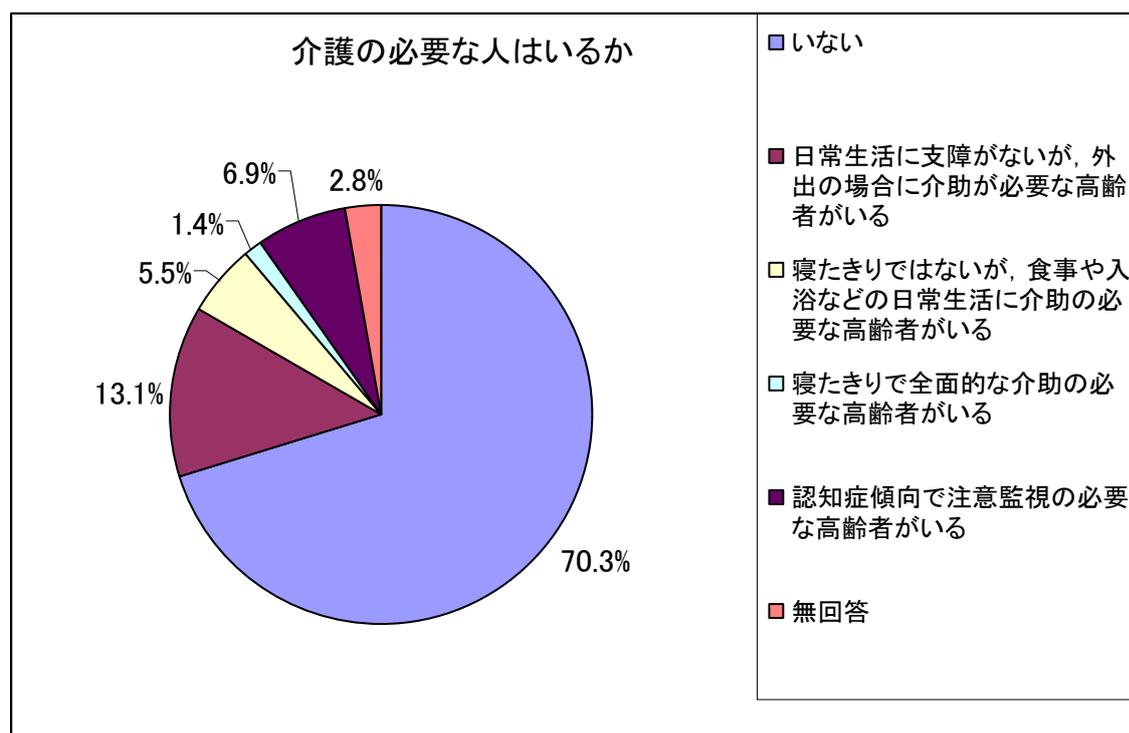
- ・ 高齢者と「同居している人」の割合は、30.7%と前回調査の32.6%に比べて1.9ポイント減少している。
- ・ 平成12年と平成17年に実施した国勢調査の結果をみても、「高齢者のいる世帯」が急激に増加を続けるなか、「高齢者が子ども等と同居している世帯」が減少しており、今回の調査結果と同様の結果となっている。

【参考】世帯数の推移（資料：総務省統計局「国勢調査」 1市2町合計により作成）

区 分		H12年	H17年
世帯数（世帯）		180,796	196,732
65歳以上の高齢者のいる世帯		48,543	57,236
核家族	夫婦のみ世帯でいずれかが65歳以上の世帯	11,631	14,469
	それ以外の核家族世帯	9,027	12,252
65歳以上の世帯員が1人の世帯		8,312	11,304
同居世帯		19,506	19,125
非親族世帯		67	86

【問6-1】 問6で「1. 同居している」と回答された方におたずねします。同居している高齢者の中で、介護の必要な方はいますか。（〇は1つ）

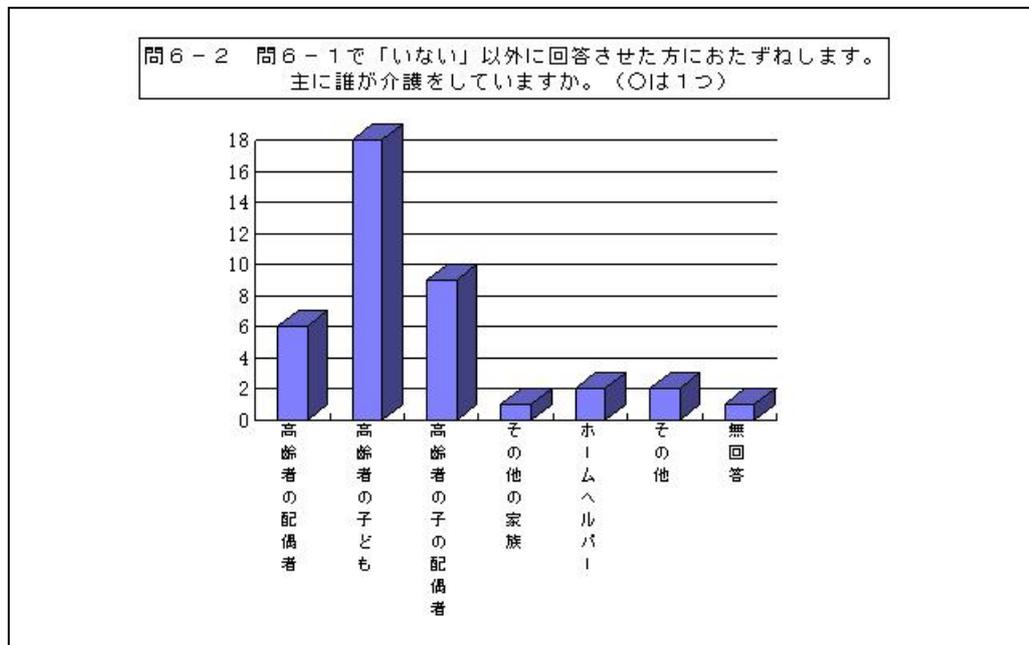
選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
いない	102	70.3%	246	65.6%
日常生活に支障がないが、外出の場合に介助が必要な高齢者がいる	19	13.1%	54	14.4%
寝たきりではないが、食事や入浴などの日常生活に介助の必要な高齢者がいる	8	5.5%	34	9.1%
寝たきりで全面的な介助の必要な高齢者がいる	2	1.4%	8	2.1%
認知症傾向で注意監視の必要な高齢者がいる	10	6.9%	24	6.4%
無回答	4	2.8%	9	2.4%
合計	145	100.0%	375	100.0%



- 同居している高齢者の中で、介護の必要な方はいるかの質問に対して、「いない」と答えた割合は、70.3%と、前回調査に比べ、4.7%増加している。
- 「いる」と答えた人のうち、ほとんどの項目が、前回調査に比べて減少しているなか、「認知症傾向で注意監視の必要な高齢者がいる（6.9%）」と答えた人の割合は、0.5ポイント増加しており、認知症高齢者の増加が推測される。

【問6-2】 問6-1で「1. いない」以外の選択肢のいずれかに○をつけた方におたずねします。主にどなたが介護をされていますか。（○は1つ）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
高齢者の配偶者	6	15.4%	26	22.0%
高齢者の子ども	18	46.2%	36	30.5%
高齢者の子の配偶者	9	23.1%	38	32.5%
その他の家族	1	2.6%	6	5.1%
ホームヘルパー	2	5.1%	6	5.1%
その他	2	5.1%	6	5.1%
無回答	1	2.6%	0	0
合計	39	100.0%	118	100.0%



- ・ 「介護が必要な高齢者と同居している人のうち、主にどなたが介護をしているか」の質問に対して、「高齢者の子ども（46.2%）」が最も多く、「高齢者の子の配偶者（23.1%）」、「高齢者の配偶者（15.4%）」の順位となっている。
- ・ 前回調査では、「高齢者の子の配偶者（32.5%）」が最も多く、「高齢者の子ども（30.5%）」、「高齢者の配偶者（22.0%）」の順位となっていたことから、「高齢者の配偶者」が介護をする状況が減少しているなか、「高齢者の子ども」が介護をする状況が増加している。

【問6-3】 問6-1で「1. いない」以外の選択肢のいずれかに○をつけた方におたずねします。介護等で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
介護者が仕事等で時間に余裕なく、十分面倒をみられない	14	25.0%	32	18.3%
介護者が体調を崩しており、十分面倒をみられない	6	10.7%	13	7.4%
自宅の構造が高齢者向きではなく、支障がある	5	8.9%	23	13.1%
介護等に伴う出費が大きい	6	10.7%	21	12.0%
家族の協力が得にくい	7	12.5%	17	9.7%
公的サービス等に関する情報が得にくい、サービスが受けにくい	9	16.1%	25	14.3%
困ったときの相談相手がいない	1	1.8%	0	-
その他	3	5.4%	11	6.3%
特になし	5	8.9%	33	18.9%
無回答	3	-	0	-
合計	59	100.0%	1,159	100.0%

- ・ 「介護が必要な高齢者と同居している人のうち、介護等で困っていることは何か」の質問に対して、「介護者が仕事等で時間に余裕なく、十分面倒をみられない（25.0%）」とほぼ4人に1人は答えており、前回調査に比べて、6.7ポイントも上昇している。
- ・ 次に、「家族の協力が得にくい（12.5%）」、「介護者が体調を崩しており、十分面倒をみられない（10.7%）」、「介護等に伴う出費が大きい（10.7%）」の順となっているが、「自宅の構造が高齢者向きではなく、支障がある（8.9%）」は前回に比べ、4.2ポイントも減少しており、住宅のバリアフリー化が進んでいると推測される。

【問7】 あなたご自身が将来介護が必要になったとき、どのような対応を希望しますか。

(○は1つ)

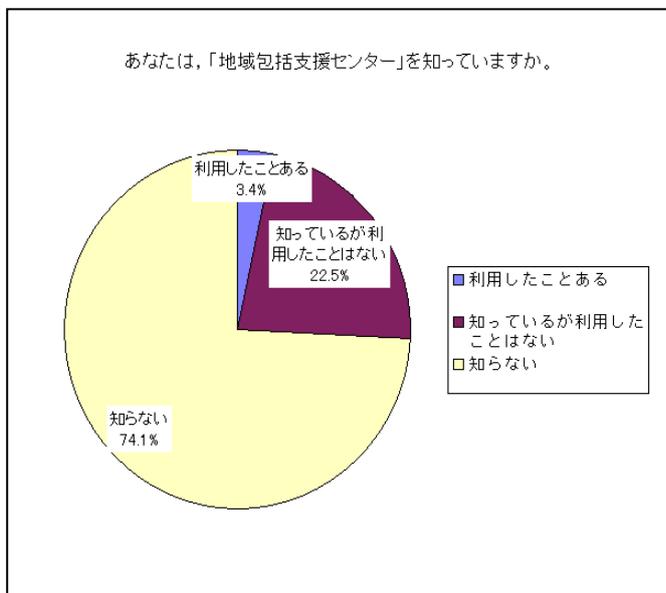
選択項目	平成20年度調査結果		平成17年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
自宅で介護を受けたい	105	21.6%	197	17.6%
介護サービスを提供する施設で介護を受けたい	159	32.8%	199	17.7%
自宅と施設のどちらでもよい	116	23.9%	607	54.1%
わからない	91	18.8%	119	10.6%
その他	6	1.2%	37	-
無回答	8	1.6%	0	-
合計	485	100.0%	1,159	100.0%

- ・ 将来、自分が介護が必要となったときには、「施設で介護を受けたい(32.8%)」が最も多く、「自宅と施設のどちらでもよい(23.9%)」「自宅で介護を受けたい(21.6%)」の順となっている。
- ・ しかしながら、「わからない(18.8%)」と答えた人も多く、前回調査よりも、8.2ポイントも多くなっている。

○ 保健・福祉サービスについて

【問8】 あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。

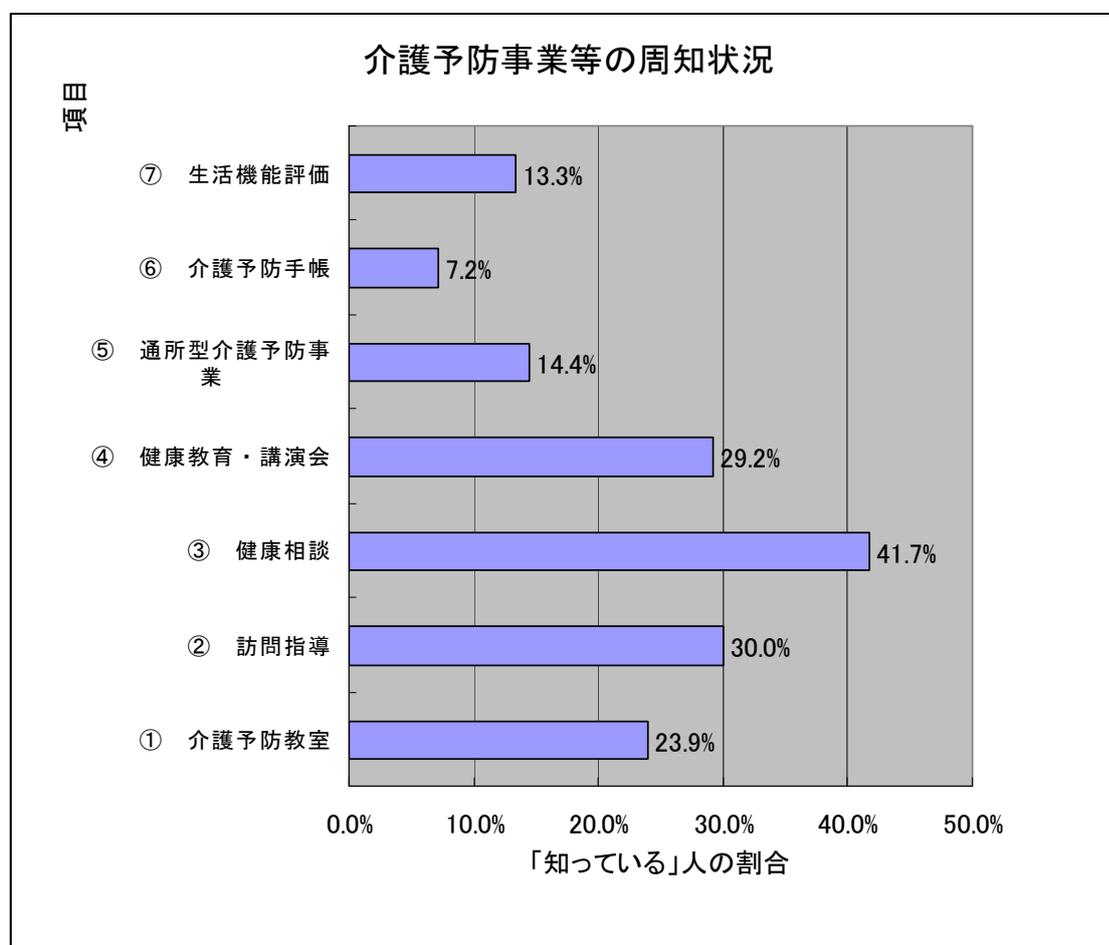
選択項目	人数	構成比
利用したことある	16	3.4%
知っているが利用したことはない	107	22.5%
知らない	352	74.1%
無回答	10	-
合計	485	100.0%



- ・ 地域包括支援センターは、平成18年4月に介護保険法の改正に伴い創設された機関であるが、その認知度については、「知らない(74.1%)」となり、40歳から64歳までの「市民の4人に3人はセンターを知らない」という結果となったことから、認知度向上のための啓発活動の強化が必要である。

【問9】 宇都宮市では現在、高齢者の介護予防に関する取組として、以下のような事業を行っていますが、各サービスについて、それぞれあてはまるものに○をつけて下さい。

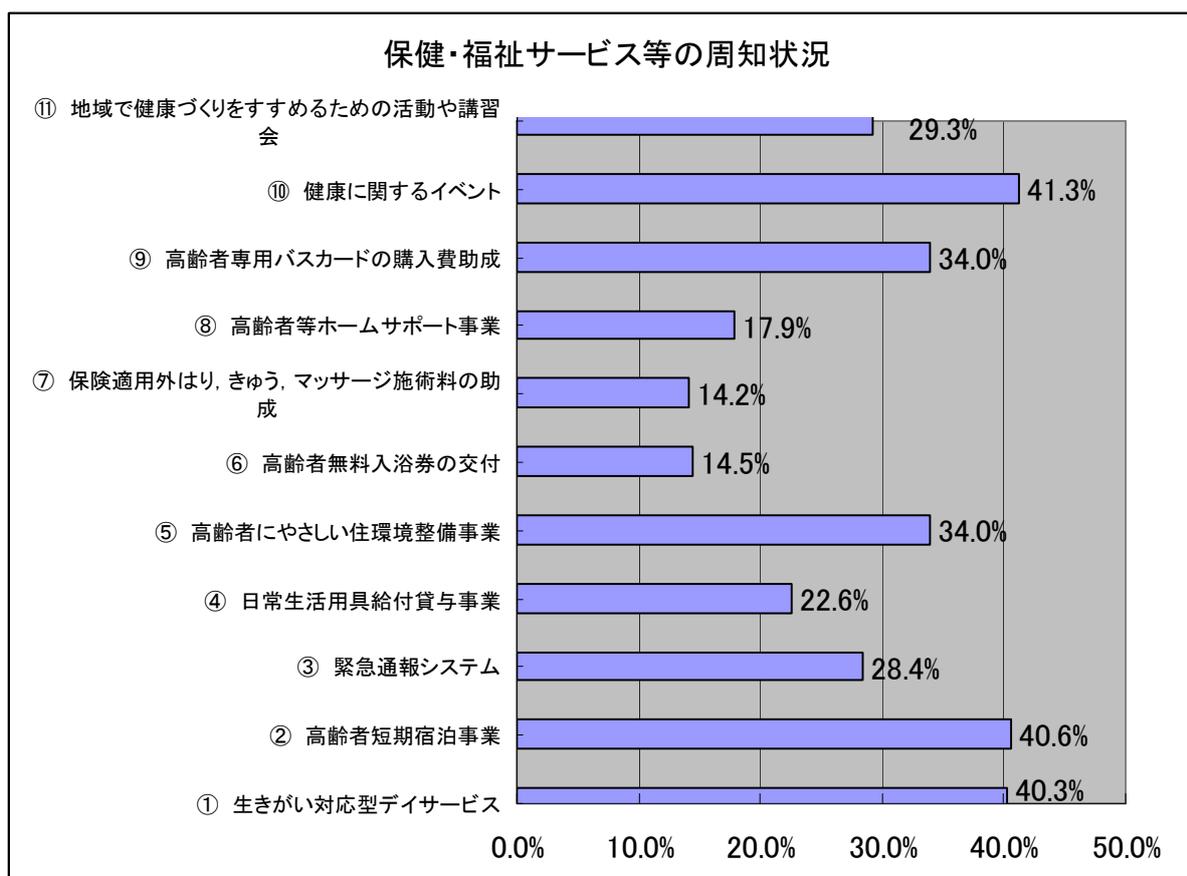
介護予防事業等の名称	1. 知っている		2. 知らない	
	人数	構成比	人数	構成比
① 介護予防教室	113	23.9%	359	76.1%
② 訪問指導	142	30.0%	331	70.0%
③ 健康相談	197	41.7%	275	58.3%
④ 健康教育・講演会	138	29.2%	334	70.8%
⑤ 通所型介護予防事業	68	14.4%	403	85.6%
⑥ 介護予防手帳	34	7.2%	438	92.8%
⑦ 生活機能評価	63	13.3%	409	86.7%



- ・ 高齢者の介護予防に関する取組についての認知度は、7事業の全てが「知らない」が「知っている」を上回っている結果となったことから、さらに啓発活動を強化する必要がある。
- ・ 7事業のうち、「介護予防手帳」が最も認知度が低く、「知っている」がわずか7.2%であった。
- ・ 一方、「健康相談」は、介護予防を行う以前から実施している事業であることから、「知っている(41.7%)」が、ほぼ4割に及んだ。

【問10】 現在、宇都宮市では以下のような保健・福祉サービスを実施していますが、各サービスについて、それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。

保健・福祉サービス等の名称	1. 知っている		2. 知らない	
	人数	構成比	人数	構成比
① 生きがい対応型デイサービス	190	40.3%	282	59.7%
② 高齢者短期宿泊事業	192	40.6%	281	59.4%
③ 緊急通報システム	134	28.4%	338	71.6%
④ 日常生活用具給付貸与事業	107	22.6%	366	77.4%
⑤ 高齢者にやさしい住環境整備事業	161	34.0%	313	66.0%
⑥ 高齢者無料入浴券の交付	69	14.5%	406	85.5%
⑦ 保険適用外はり、きゅう、マッサージ施術料の助成	67	14.2%	406	85.8%
⑧ 高齢者等ホームサポート事業	85	17.9%	389	82.1%
⑨ 高齢者専用バスカードの購入費助成	162	34.0%	314	66.0%
⑩ 健康に関するイベント	196	41.3%	279	58.7%
⑪ 地域で健康づくりをすすめるための活動や講習会	138	29.3%	333	70.7%

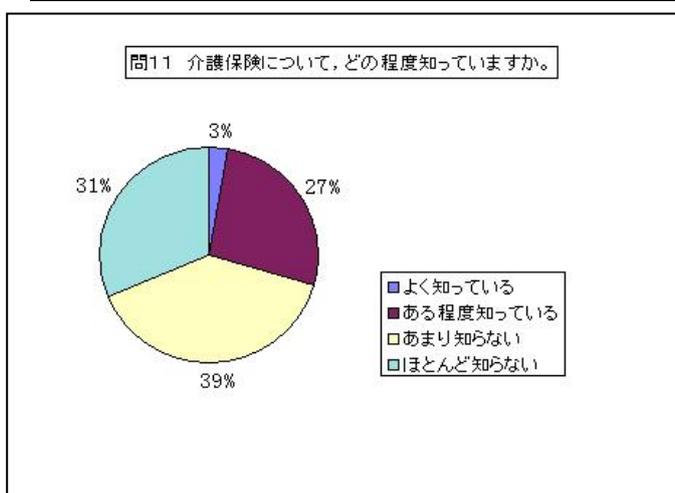


- ・ 高齢者の保健・福祉サービスについての認知度は、11事業の全てが「知らない」が「知っている」を上回っている結果となったことから、さらに啓発活動を強化する必要がある。
- ・ 11事業のうち「健康に関するイベント（41.3%）」が最も認知度が高くなっているが、「保険適用外はり、きゅう、マッサージ施術料の助成」が最も認知度が低く、わずか14.2%であった。

○ 介護保険制度について

【問 1 1】 介護保険制度について、どの程度知っていますか。

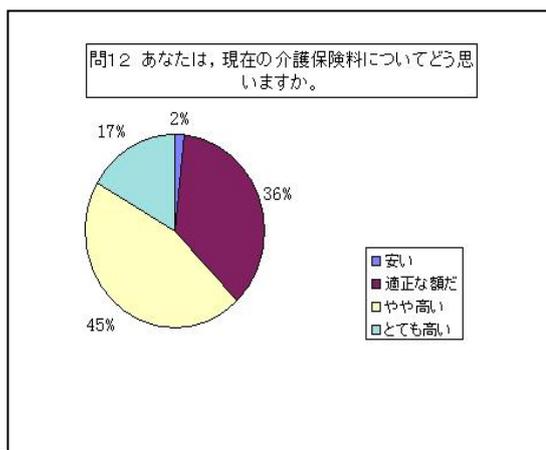
選択項目	平成 2 0 年度調査結果		平成 1 7 年度調査結果	
	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	13	2.7%	38	3.4%
ある程度知っている	127	26.7%	265	23.7%
あまり知らない	186	39.2%	421	37.7%
ほとんど知らない	149	31.4%	392	35.1%
無回答	10	-	43	-
合計	485	100.0%	1116	100.0%



- ・ 介護保険制度の認知度については、「あまり知らない (39.2%)」が最も多く、「ほとんど知らない (31.4%)」と合わせると、70.6%の人が「知らない」という結果となった。
- ・ 前回調査では、72.8%が「知らない」と答えており、わずか2.8ポイント上昇はしたものの、さらに介護保険制度のPRが必要である。

【問 1 2】 介護保険は、社会全体で介護を支える制度であり、40歳以上の方に応分の負担をいただいています。あなたは、現在の介護保険料についてどう思いますか。

選択項目	人数	構成比
安い	8	1.8%
適正な額だ	163	35.9%
やや高い	207	45.6%
とても高い	76	16.7%
無回答	31	-
合計	485	100.0%



- ・ 介護保険料の負担感については、「やや高い (45.6%)」が最も多く、「とても高い (16.7%)」と合わせると、高いと感じている人の割合は、62.3%に及んでいることから、2号被保険者に対して、介護保険料の使われ方などについて適切に知らせ、理解を促進する必要があると考える。
- ・ 一方で、35.9%が「適正な額だ」と感じており、介護保険料に対して、一定の理解が得られていると考える。

平成 2 0 年度介護保険利用者実態調査について

平成 2 0 年 7 月 1 日
宇 都 宮 市
(保健福祉部高齢福祉課)

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第 4 期介護保険事業計画の策定に先立ち、介護サービス利用動向や今後の利用意向を把握し、サービス利用量の見込みや負担と受益のあり方等の参考資料とするため、実態調査を実施した。

(2) 調査の概要

調査地域：宇都宮市全域

調査対象：要介護等認定者（新規・更新・変更申請者 9 0 0 人）

抽出方法：平成 2 0 年 4 月から 6 月までの新規・更新・変更申請者

調査方法：訪問調査（訪問調査員による本人又は家族からの聞き取り調査）

調査期間：平成 2 0 年 4 月 1 日～ 6 月 1 3 日

調査項目（全 2 4 問）

- ・ 被保険者基本情報
- ・ サービスの利用および今後の利用希望について
- ・ 介護保険料について
- ・ 介護保険に関する要望等

(3) 回収結果

標本数	有効回答数	有効回答率
9 0 0	9 0 0	1 0 0 %

2 集計結果の分析

(1) 調査対象者の現状について (対象：全員)

性別 (SA)

性別	人数	構成比
男	296	32.9%
女	604	67.1%
全体	900	100.0%

・調査対象者の性別については、男性が約 33%、女性が約 67% となっている。

年齢 (SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
40～64歳	30	3.3%	16	5.4%	14	2.3%
65～69歳	55	6.1%	29	9.8%	26	4.3%
70～74歳	84	9.3%	36	12.2%	48	7.9%
75～79歳	173	19.2%	64	21.6%	109	18.0%
80～84歳	251	27.9%	70	23.6%	181	30.0%
85歳以上	307	34.1%	81	27.4%	226	37.4%
合計	900	100.0%	296	100.0%	604	100.0%

・調査対象者の年齢のうち、75歳以上の割合は全体の約 80% を占めている。

要介護認定申請区分 (SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
新規申請	227	25.2%	89	30.1%	138	22.8%
更新申請	609	67.7%	184	62.2%	425	70.4%
変更申請(介護申請)	64	7.1%	23	7.8%	41	6.8%
合計	900	100.0%	296	100.0%	604	100.0%

要介護認定区分 (SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
要支援 1	139	15.4%	33	11.1%	106	17.5%
要支援 2	187	20.8%	61	20.6%	126	20.9%
要介護 1	147	16.3%	43	14.5%	104	17.2%
要介護 2	68	7.6%	25	8.4%	43	7.1%
要介護 3	68	7.6%	21	7.1%	47	7.8%
要介護 4	46	5.1%	16	5.4%	30	5.0%
要介護 5	26	2.9%	11	3.7%	15	2.5%
新規申請	219	24.3%	86	29.1%	133	22.0%
合計	900	100.0%	296	100.0%	604	100.0%

世帯の状況 (SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
独居	172	19.1%	45	15.2%	127	21.0%
高齢者のみの世帯	187	20.8%	100	33.8%	87	14.4%
高齢者以外の同居者がいる	520	57.8%	146	49.3%	374	61.9%
その他	15	1.7%	3	1.0%	12	2.0%
無回答	6	0.7%	2	0.7%	4	0.7%
合計	900	100.0%	296	100.0%	604	100.0%

・世帯の状況としては、総計で見ると「高齢者以外の同居者がいる」が最も多く、全体の 50% を超えている。また、独居や高齢者のみの世帯の合計は、全体の約 40% となっている。

主な介護者

(SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
配偶者(夫)	91	10.1%	1	0.3%	90	14.9%
配偶者(妻)	164	18.2%	153	51.7%	11	1.8%
息子	99	11.0%	9	3.0%	90	14.9%
娘	174	19.3%	46	15.5%	128	23.2%
息子の配偶者(嫁)	169	18.8%	26	8.8%	143	23.7%
娘の配偶者(婿)	5	0.6%	2	0.7%	3	0.5%
その他の親族	38	4.2%	12	4.1%	26	4.3%
ホームヘルパー等の介護の専門家	60	6.7%	24	8.1%	36	6.0%
いない	67	7.4%	17	5.7%	50	8.3%
その他	16	1.8%	2	0.7%	14	2.3%
無回答	17	1.9%	4	1.4%	13	2.2%
合計	900	100.0%	296	100.0%	604	100.0%

・男性については、「配偶者(妻)」の割合が圧倒的に高いが、女性については、「娘」及び「息子の配偶者(嫁)」の割合が高い。また、総計のうち、妻や娘、息子の配偶者(嫁)など、女性の割合が約56.3%となっている。

障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)及び認知症高齢者自立度(認知症度)

(SA)

選択項目	自立 (寝たきり度)	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	無回答	総計
自立 (認知症度)	1	13	126	109	73	32	7	2	1	0	364
	0	3	54	64	71	19	22	4	2	0	239
a	1	0	13	16	15	5	3	1	2	1	57
b	1	0	17	36	32	8	18	1	4	1	118
a	0	0	4	14	11	6	16	4	11	0	66
b	0	0	1	3	5	2	3	0	3	0	17
	0	0	0	1	3	0	6	0	11	0	21
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16	18
合計	3	16	215	244	210	72	75	12	35	18	900

・障害老人の日常生活自立度A以上の方(648人)は、全体の72%を占めている。
 ・認知症高齢者自立度 以上の方(279人)は、全体の31%を占めている。
 ・寝たきり度A以上、認知症度 以上の方(240人)は、全体の約27%を占めている。

(参考) 日常生活自立度及び認知症高齢者自立度について

「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)」

障害老人の日常生活に関する自立の判定基準となるもの(ランクはJからCまで)

J. 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する

A. 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない

B. 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ

C. 1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する

(平成3年11月18日 老健第102-2号 厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知)

「認知症高齢者自立度」

認知症高齢者の日常生活に関する自立度の判定基準となるもの(ランクは からMまで)

. 何らかの認知症の症状を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

. 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。

. 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。

. 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。

M. 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(平成5年10月26日 老健第135号 厚生省老人保健福祉局長通知)

(2) 介護サービスの利用状況等について

介護サービスの利用状況 (対象：全員)

(SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
利用していない	245	27%	87	29%	158	26%
利用予定なし(新規申請者)	38	4%	18	6%	20	3%
利用予定(新規申請者)	163	18%	60	20%	103	17%
利用している	453	50%	131	44%	322	53%
無回答	1	0%	0	0%	1	0%
合計	900	100%	296	100%	604	100%

・要介護認定申請区分が更新・変更(介護)申請の方のうち、50%の人が介護サービスを利用しており、サービスを利用していない人は27%となっている。

介護サービスの利用を希望しない理由 (対象：-2- -利用していない・利用予定無し)

(SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
家族介護で十分	53	17.4%	18	15.8%	35	18.3%
本人が望んでいない	81	26.6%	25	21.9%	56	29.3%
経済的負担が増える	6	2.0%	3	2.6%	3	1.6%
使いたいサービスがない	11	3.6%	5	4.4%	6	3.1%
利用の仕方がよく分からない	18	5.9%	7	6.1%	11	5.8%
ケアマネジャーが見つからない	3	1.0%	2	1.8%	1	0.5%
入院中のため不要	50	16.4%	26	22.8%	24	12.6%
その他	56	18.4%	18	15.8%	38	19.9%
無回答	27	8.9%	10	8.8%	17	8.9%
合計	305	100.0%	114	100.0%	191	100.0%

・介護サービスの利用を希望しない理由のうち、「本人が望んでいない」割合が男女とも高い。

介護サービス未利用者の認定申請の理由 (対象：-2- -利用していない・利用予定無し)

(MA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
サービスを利用したい	121	68.8%	43	65.2%	78	70.9%
施設に申込をしたい	13	7.4%	5	7.6%	8	7.3%
念のため(将来に備えて)	22	12.5%	10	15.2%	12	10.9%
紙おむつ購入費の支給を受けたい	8	4.5%	2	3.0%	6	5.5%
その他	3	1.7%	2	3.0%	1	0.9%
無回答	9	5.1%	4	6.1%	5	4.5%
合計	176	100.0%	66	100.0%	110	100.0%

・介護サービス未利用者の認定申請の理由については、「サービスを利用したい」が最も多い。

介護サービスを受けている場所 (対象：-2- -利用している)

(SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
在宅(自宅)	397	87.6%	117	89.3%	280	87.0%
グループホーム	4	0.9%	1	0.8%	3	0.9%
軽費老人ホーム(ケアハウス)	8	1.8%	0	0.0%	8	2.5%
有料老人ホーム	2	0.4%	0	0.0%	2	0.6%
介護老人福祉施設(特養)	11	2.4%	4	3.1%	7	2.2%
介護老人保健施設	19	4.2%	4	3.1%	15	4.7%
介護療養型医療施設	5	1.1%	2	1.5%	3	0.9%
その他	3	0.7%	1	0.8%	2	0.6%
無回答	4	0.9%	2	1.5%	2	0.6%
合計	453	100.0%	131	100.0%	322	100.0%

・介護サービスの提供を希望する場所については、「在宅(自宅)」の割合が男女とも最も高い。

介護サービス利用者の今後の利用意向 (対象： -2- -利用している) (SA)

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
現状維持	330	72.8%	89	67.9%	241	74.8%
増やしたい	116	25.6%	39	29.8%	77	23.9%
減らしたい	2	0.4%	0	0.0%	2	0.6%
使わない	1	0.2%	0	0.0%	1	0.3%
無回答	4	0.9%	3	2.3%	1	0.3%
合計	453	100.0%	131	100.0%	322	100.0%

・介護サービス利用者の今後の利用意向について、男女ともに「現状維持」が最も多い。

上記の理由 (対象： -2- 回答者) (SA)

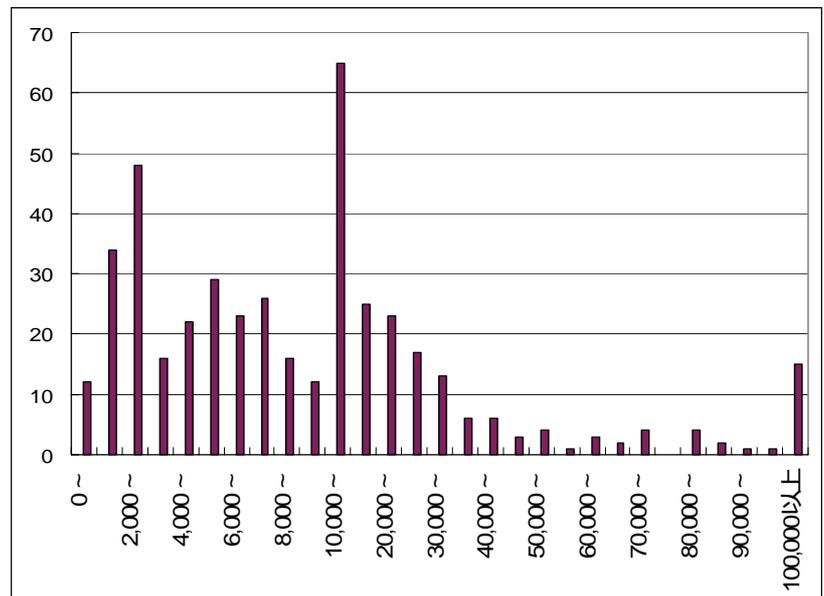
選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	221	48.8%	70	53.4%	151	46.9%
経済的負担の問題	22	4.9%	3	2.3%	19	5.9%
本人・家族の希望	141	31.1%	37	28.2%	104	32.3%
身体状態の変化	36	7.9%	11	8.4%	25	7.8%
その他	12	2.6%	3	2.3%	9	2.8%
無回答	21	4.6%	7	5.3%	14	4.3%
合計	453	100.0%	131	100.0%	322	100.0%

・上記の理由としては、サービスを利用したことによる本人の「満足度」や、本人・家族の希望によるところが高い。

介護サービス利用料の月平均自己負担額

(SA)

利用料金(円)	人数
0～	12
1,000～	34
2,000～	48
3,000～	16
4,000～	22
5,000～	29
6,000～	23
7,000～	26
8,000～	16
9,000～	12
10,000～	65
15,000～	25
20,000～	23
25,000～	17
30,000～	13
35,000～	6
40,000～	6
45,000～	3
50,000～	4
55,000～	1
60,000～	3
65,000～	2
70,000～	4
75,000～	0
80,000～	4
85,000～	2
90,000～	1
95,000～	1
100,000以上	15
無回答	20
合計	453



1ヵ月あたり平均利用額 17,408円

最大利用額 200,000円

- ・自己負担額について、10,000円台が最も高く、次いで2,000円台となっている。
- ・10,000円以下が半数を占めている。

介護サービス利用料に対する負担感 (対象： - 2 - -利用している) (SA)

選択項目	回答数	構成比
無理なく支払える額である	8	1.8%
何とか支払える額である	8	1.8%
支払いが困難な額である	0	0.0%
わからない	11	2.4%
無回答	426	94.0%
計	453	100.0%

現在利用している介護サービスの種類別満足度 (対象： - 2 - -利用している) (MA)

選択項目	満足している		ほぼ満足している		どちらでもない		やや不満に感じる		不満である		利用したことがない		無回答		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
訪問介護(ホームヘルプサービス)	93	20.5%	46	10.2%	4	0.9%	6	1.3%	2	0.4%	76	16.8%	226	49.9%	453	100.0%
訪問入浴介護	5	1.1%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	112	24.7%	334	73.7%	453	100.0%
訪問看護	18	4.0%	6	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	109	24.1%	320	70.6%	453	100.0%
訪問リハビリテーション	1	0.2%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	113	24.9%	337	74.4%	453	100.0%
通所介護(デイサービス)	143	31.6%	64	14.1%	16	3.5%	11	2.4%	3	0.7%	43	9.5%	173	38.2%	453	100.0%
通所リハ(デイケア)	23	5.1%	17	3.8%	3	0.7%	4	0.9%	1	0.2%	104	23.0%	301	66.4%	453	100.0%
特養への短期入所	15	3.3%	4	0.9%	3	0.7%	1	0.2%	2	0.4%	104	23.0%	324	71.5%	453	100.0%
老健施設への短期入所	2	0.4%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	113	24.9%	335	74.0%	453	100.0%
居宅療養管理指導	4	0.9%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	112	24.7%	336	74.2%	453	100.0%
福祉用具貸与	57	12.6%	10	2.2%	3	0.7%	1	0.2%	2	0.4%	90	19.9%	290	64.0%	453	100.0%
介護老人福祉施設(特養)	8	1.8%	5	1.1%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	108	23.8%	329	72.6%	453	100.0%
介護老人保健施設	6	1.3%	10	2.2%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	110	24.3%	326	72.0%	453	100.0%
介護療養型医療施設	4	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	113	24.9%	336	74.2%	453	100.0%

現在利用している介護サービスの種類別不満足度 (対象： - 2 - -利用している) (MA)

選択項目	親切丁寧でない・態度が悪い		体の状態が悪くなった		予定時間を守ってくれない		サービスの質が悪い		施設的环境・設備が悪い		経済的負担が増えた		その他		無回答		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
訪問介護(ホームヘルプサービス)	2	0.4%	0	0.0%	1	0.2%	3	0.7%	0	0.0%	1	0.2%	3	0.7%	443	97.8%	453	100.0%
訪問入浴介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	453	100.0%	453	0.0%
訪問看護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	453	100.0%	453	0.0%
訪問リハビリテーション	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	452	99.8%	453	100.0%
通所介護(デイサービス)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%	4	0.9%	447	98.7%	453	100.0%
通所リハ(デイケア)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	3	0.7%	448	98.9%	453	100.0%
特養への短期入所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	453	100.0%	453	0.0%
老健施設への短期入所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	453	100.0%	453	0.0%
居宅療養管理指導	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	453	100.0%	453	0.0%
福祉用具貸与	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	2	0.4%	450	99.3%	453	100.0%
介護老人福祉施設(特養)	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	452	99.8%	453	100.0%
介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	452	99.8%	453	100.0%
介護療養型医療施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	453	100.0%	453	0.0%

ケアプランに対する満足度及び不満足の原因

ア 満足度 (対象： - 2 - -利用している) (SA)

選択項目	回答数	構成比
満足している	277	61.1%
ほぼ満足している	119	26.3%
どちらでもない	21	4.6%
やや不満に感じる	11	2.4%
不満である	3	0.7%
無回答	22	4.9%
計	453	100.0%

・ケアプランに対する満足度については、「満足している」と「ほぼ満足している」の合計は、全体の80%を超えている。

イ 不満足の原因 (対象: -2- (イ)や不満を感じる・不満である) (MA)

選択項目	回答数	構成比
本人の状態に合った計画でない	4	23.5%
本人・家族の意向を反映していない	3	17.6%
色々なサービス利用のアドバイスがない	1	5.9%
身体状況が変わった時の対応がない	1	5.9%
その他	7	41.2%
無回答	1	5.9%
計	17	100.0%

・ケアプランに対する不満足の原因については、「その他」が多く、「利用回数が少ない」という意見が多い。

介護サービス種類別現在の利用状況 (対象: -2- -利用している) (SA)

選択項目	有		無		無回答		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
訪問介護(ホームヘルプサービス)	134	29.6%	21	4.6%	298	65.8%	453	100.0%
訪問入浴介護	7	1.5%	29	6.4%	417	92.1%	453	100.0%
訪問看護	24	5.3%	25	5.5%	404	89.2%	453	100.0%
訪問リハビリテーション	2	0.4%	30	6.6%	421	92.9%	453	100.0%
通所介護(デイサービス)	198	43.7%	15	3.3%	240	53.0%	453	100.0%
通所リハビリ(デイケア)	40	8.8%	27	6.0%	386	85.2%	453	100.0%
特養への短期入所	28	6.2%	31	6.8%	394	87.0%	453	100.0%
老健施設への短期入所	5	1.1%	31	6.8%	417	92.1%	453	100.0%
居宅管理指導	3	0.7%	30	6.6%	420	92.7%	453	100.0%
福祉用具貸与	80	17.7%	21	4.6%	352	77.7%	453	100.0%
認知症対応型通所介護	0	0.0%	30	6.6%	423	93.4%	453	100.0%
小規模多機能型居宅介護	0	0.0%	30	6.6%	423	93.4%	453	100.0%
夜間対応型訪問介護	0	0.0%	30	6.6%	423	93.4%	453	100.0%

・現在、介護サービスを利用している人については、「訪問介護」が全体の約30%、「通所介護」が全体の約44%、「福祉用具貸与」が全体の約18%を占めており、「訪問介護」「通所介護」「福祉用具貸与」の合計は、全体の90%を超えている。

介護サービス種類別今後の利用希望 (対象: -2- -利用予定・利用している) (SA)

選択項目	利用したい		増やしたい		減らしたい		利用しない		わからない		無回答		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
訪問介護(ホームヘルプサービス)	152	24.7%	27	4.4%	0	0.0%	88	14.3%	70	11.4%	279	45.3%	616	100.0%
訪問入浴介護	9	1.5%	4	0.6%	2	0.3%	156	25.3%	85	13.8%	361	58.6%	616	100.0%
訪問看護	30	4.9%	5	0.8%	2	0.3%	150	24.4%	81	13.1%	350	56.8%	616	100.0%
訪問リハビリテーション	7	1.1%	1	0.2%	2	0.3%	155	25.2%	83	13.5%	371	60.2%	616	100.0%
通所介護(デイサービス)	212	34.4%	41	6.7%	2	0.3%	79	12.8%	46	7.5%	240	39.0%	616	100.0%
通所リハビリ(デイケア)	50	8.1%	9	1.5%	1	0.2%	135	21.9%	82	13.3%	344	55.8%	616	100.0%
特養への短期入所	60	9.7%	5	0.8%	2	0.3%	139	22.6%	77	12.5%	339	55.0%	616	100.0%
老健施設への短期入所	27	4.4%	1	0.2%	2	0.3%	149	24.2%	82	13.3%	362	58.8%	616	100.0%
居宅管理指導	8	1.3%	2	0.3%	2	0.3%	149	24.2%	89	14.4%	374	60.7%	616	100.0%
福祉用具貸与	108	17.5%	1	0.2%	2	0.3%	107	17.4%	78	12.7%	329	53.4%	616	100.0%
認知症対応型通所介護	1	0.2%	0	0.0%	2	0.3%	158	25.6%	88	14.3%	377	61.2%	616	100.0%
小規模多機能型居宅介護	4	0.6%	1	0.2%	2	0.3%	157	25.5%	88	14.3%	375	60.9%	616	100.0%
夜間対応型訪問介護	3	0.5%	1	0.2%	2	0.3%	158	25.6%	87	14.1%	377	61.2%	616	100.0%

・現在、介護サービスを利用している人及び利用を予定している人の、「利用したい」サービスは、「訪問介護」が全体の約25%、「通所介護」が全体の約34%、「福祉用具貸与」が全体の約18%を占めている。

地域密着型サービス種類別 今後の利用希望 (対象: -2- -利用予定・利用している) (SA)

選択項目	利用したい		検討したい		希望しない		わからない		無回答		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
小規模多機能型居宅介護	5	0.8%	5	0.8%	166	26.9%	120	19.5%	320	51.9%	616	100.0%
夜間対応型訪問介護	6	1.0%	4	0.6%	165	26.8%	120	19.5%	321	52.1%	616	100.0%
認知症対応型通所介護	5	0.8%	4	0.6%	166	26.9%	120	19.5%	321	52.1%	616	100.0%
認知症対応型グループホーム	7	1.1%	6	1.0%	166	26.9%	117	19.0%	320	51.9%	616	100.0%
地域密着型小規模特定施設	4	0.6%	6	1.0%	164	26.6%	121	19.6%	321	52.1%	616	100.0%
地域密着型小規模特養	4	0.6%	7	1.1%	164	26.6%	120	19.5%	321	52.1%	616	100.0%

・地域密着型サービスの利用希望については、全てのサービスで「希望しない」とする人が多い。

福祉用具購入・住宅改修・特別給付(紙おむつ購入費支給)の利用状況 (対象: -2- -利用している) (SA)

選択項目	有		無		無回答		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
福祉用具購入費の支給	42	6.8%	22	3.6%	552	89.6%	616	100.0%
住宅改修費の支給	50	8.1%	22	3.6%	544	88.3%	616	100.0%
紙おむつ購入費の支給	61	9.9%	20	3.2%	535	86.9%	616	100.0%

紙おむつを購入している方の月あたり平均購入金額 (対象: -2- -紙おむつ利用有) (SA)

項目	件数	構成割合
1,000 ~ 2,000	4	6.6%
2,001 ~ 3,000	5	8.2%
3,001 ~ 4,000	4	6.6%
4,001 ~ 5,000	13	21.3%
5,001 ~ 6,000	7	11.5%
6,001 ~ 7,000	5	8.2%
7,001 ~ 8,000	8	13.1%
8,001 ~ 9,000	0	0.0%
9,001 ~ 10,000	5	8.2%
10,001 以上	1	1.6%
無回答	9	14.8%
	61	100.0%

月額平均 5,935 円

・紙おむつの平均購入額については、4,000 円台が最も多い。

福祉用具購入・住宅改修・特別給付(紙おむつ購入費支給)の利用満足度

(対象: -2- -福祉用具購入・住宅改修・特別給付利用あり)

(SA)

選択項目	満足している		ほぼ満足している		どちらでもない		やや不満を感じる		不満である		無回答		総数	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
福祉用具購入費の支給	10	23.8%	6	14.3%	1	2.4%	0	0.0%	1	2.4%	24	57.1%	42	100.0%
住宅改修費の支給	8	16.0%	7	14.0%	4	8.0%	0	0.0%	1	2.0%	30	60.0%	50	100.0%
紙おむつ購入費の支給	11	18.0%	4	6.6%	2	3.3%	2	3.3%	1	1.6%	41	67.2%	61	100.0%

福祉用具購入・住宅改修・特別給付(紙おむつ購入費支給)の今後の利用意向

(対象: -2- -利用予定・利用している)

(SA)

選択項目	有り		無し		無回答		総数	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
福祉用具購入費の支給	54	8.8%	7	1.1%	555	90.1%	616	100.0%
住宅改修費の支給	46	7.5%	11	1.8%	559	90.7%	616	100.0%
紙おむつ購入費の支給	61	9.9%	9	1.5%	546	88.6%	616	100.0%

新たに実施を希望する特別給付について

(対象： -2- -利用予定・利用している)

(SA)

選択項目	回答数	構成比
寝具乾燥サービス	23	3.7%
配食サービス	30	4.9%
移送サービス	68	11.0%
訪問理美容サービス	26	4.2%
その他	43	7.0%
保険料が高くなるため実施不要	154	25.0%
無回答	272	44.2%
計	616	100.0%

・保険料が高くなるため実施不要とする意見が最も多いが、「移送サービス」の実施を希望する意見もある。

今後、介護サービスを受けたい場所

(対象： -2- -利用予定・利用している)

(SA)

選択項目	回答数	構成比
在宅(自宅)	489	79.4%
グループホーム	7	1.1%
軽費老人ホーム(ケアハウス)	7	1.1%
高齢者世話付き住宅	1	0.2%
介護老人福祉施設(特養)	30	4.9%
介護老人保健施設	12	1.9%
介護療養型医療施設	7	1.1%
介護付き有料老人ホーム	0	0.0%
その他	5	0.8%
無回答	58	9.4%
計	616	100.0%

・介護サービスを受けたい場所について、「在宅(自宅)」とする意見が全体の約80%を占める結果となった。

(3) 介護保険料について (対象: 全員)

介護保険料段階の状況 (SA)

項目	回答数	構成比
第1段階	30	3.3%
第2段階	153	17.0%
第3段階	71	7.9%
第4段階	349	38.8%
第5段階	131	14.6%
第6段階	114	12.7%
2号被保険者	31	3.4%
不明	21	2.3%
計	900	100.0%

・今回の調査対象者は、世帯・本人課税者である第4段階以上の方が全体の60%以上となった。

現在の介護保険料に対する負担感について

(SA)

選択項目	総計		無理なく支払える額である		何とか支払える額である		支払いが困難な額である		わからない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
第1段階	30	3.3%	4	2.3%	6	1.3%	2	2.0%	18	18.6%	0	0.0%
第2段階	153	17.0%	26	15.0%	83	17.4%	20	19.8%	17	17.5%	7	13.2%
第3段階	71	7.9%	11	6.4%	46	9.7%	4	4.0%	4	4.1%	6	11.3%
第4段階	349	38.8%	67	38.7%	179	37.6%	45	44.6%	38	39.2%	20	37.7%
第5段階	131	14.6%	21	12.1%	79	16.6%	17	16.8%	7	7.2%	7	13.2%
第6段階	114	12.7%	34	19.7%	56	11.8%	10	9.9%	7	7.2%	7	13.2%
2号被保険者	31	3.4%	4	2.3%	15	3.2%	3	3.0%	4	4.1%	5	9.4%
不明	21	2.3%	6	3.5%	12	2.5%	0	0.0%	2	2.1%	1	1.9%
合計	900	100.0%	173	100.0%	476	100.0%	101	100.0%	97	100.0%	53	100.0%
全体の構成比		100.0%		19.2%		52.9%		11.2%		10.8%		5.9%

・保険料に対する負担感のうち、「何とか支払える額である」が全体の52.9%を占めている。

現在の介護保険料段階設定の考え方について

(SA)

選択項目	総計		今のままの設定でよい		低所得者(第1・2段階)の負担額を軽くし、他の段階の負担を増やすべき		低所得者(第1・2段階)と高所得者(第5・6段階)の負担格差を小さくすべき		その他		わからない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
第1段階	30	3.3%	9	2.6%	4	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	16	6.5%	1	1.9%
第2段階	153	17.0%	56	16.3%	36	19.4%	7	14.9%	3	13.0%	43	17.4%	8	14.8%
第3段階	71	7.9%	30	8.7%	13	7.0%	2	4.3%	1	4.3%	18	7.3%	7	13.0%
第4段階	349	38.8%	135	39.4%	83	44.6%	13	27.7%	10	43.5%	89	36.0%	19	35.2%
第5段階	131	14.6%	49	14.3%	26	14.0%	7	14.9%	4	17.4%	37	15.0%	8	14.8%
第6段階	114	12.7%	49	14.3%	13	7.0%	15	31.9%	3	13.0%	29	11.7%	5	9.3%
2号被保険者	31	3.4%	9	2.6%	9	4.8%	2	4.3%	2	8.7%	6	2.4%	3	5.6%
不明	21	2.3%	6	1.7%	2	1.1%	1	2.1%	0	0.0%	9	3.6%	3	5.6%
合計	900	100.0%	343	100.0%	186	100.0%	47	100.0%	23	100.0%	247	100.0%	54	100.0%
全体の構成比		100.0%		38.1%		20.7%		5.2%		2.6%		27.4%		6.0%

・介護保険料段階設定の考え方について、「今のままの設定でよい」とする意見が38.1%と最も多い意見であるが、一方で、「低所得者の負担を軽くし、他の段階の負担を増やすべき」とする意見も20.7%あった。

介護保険料と保険給付のあり方について

(SA)

選択項目	総計		保険料が高くなってもよいから、サービスを充実させたほうがよい		保険料もサービスも現状の程度でよい		サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい		その他		わからない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
第1段階	30	3.3%	1	1.5%	7	1.6%	0	0.0%	1	2.7%	20	7.5%	1	4.5%
第2段階	153	17.0%	9	13.4%	73	17.2%	23	28.4%	4	10.8%	39	14.6%	5	22.7%
第3段階	71	7.9%	4	6.0%	35	8.2%	5	6.2%	2	5.4%	25	9.3%	0	0.0%
第4段階	349	38.8%	17	25.4%	181	42.6%	33	40.7%	15	40.5%	96	35.8%	7	31.8%
第5段階	131	14.6%	11	16.4%	64	15.1%	10	12.3%	4	10.8%	39	14.6%	3	13.6%
第6段階	114	12.7%	17	25.4%	48	11.3%	8	9.9%	7	18.9%	31	11.6%	3	13.6%
2号被保険者	31	3.4%	5	7.5%	9	2.1%	2	2.5%	4	10.8%	9	3.4%	2	9.1%
不明	21	2.3%	3	4.5%	8	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	9	3.4%	1	4.5%
合計	900	100.0%	67	100.0%	425	100.0%	81	100.0%	37	100.0%	268	100.0%	22	100.0%
全体の構成比		100.0%		7.4%		47.2%		9.0%		4.1%		29.8%		2.4%

- ・介護保険料と保険給付のあり方について、「保険料もサービスも現状のままでよい」とする意見が全体の47.2%と最も多い意見であった。
- ・また、「サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい」とする意見が、「保険料が高くなってもよいから、サービスを充実させたほうがよい」という意見を上回った。

14	利用料の負担感	無理なく支払える額である 支払が困難な額である	何とか支払える額である わからない																																																																																																																																																																																																																																			
15	利用しているサービスの満足度・不満足 の理由 <input type="checkbox"/> 複数可	<p>・ 各サービス毎に該当する選択肢の番号に を付ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">サービスの種類</th> <th colspan="6">満足度</th> <th colspan="7">不満足な理由</th> </tr> <tr> <th>満足している</th> <th>ほぼ満足している</th> <th>どちらでもない</th> <th>やや不満に感じる</th> <th>不満である</th> <th>利用したことがない</th> <th>親切丁寧でない・態度が悪い</th> <th>体の状態が悪くなった</th> <th>予定時間を守ってくれない</th> <th>サービスの質が悪い</th> <th>施設の環境・設備が悪い</th> <th>経済的負担が増えた</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>2. 訪問入浴介護</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>3. 訪問看護</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>4. 訪問リハビリテーション</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>5. 通所介護(デイサービス)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>6. 通所リハ(デイケア)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>7. 特養への短期入所</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8. 老健施設への短期入所</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>9. 居宅療養管理指導</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>10. 福祉用具貸与</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>11. 介護老人福祉施設(特養)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>12. 介護老人保健施設</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>13. 介護療養型医療施設</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> </tbody> </table> <p>・ 不満足な理由の選択肢の中で、その他(7)と回答した場合の理由を簡単に記入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス種類</th> <th>不満足な理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												サービスの種類	満足度						不満足な理由							満足している	ほぼ満足している	どちらでもない	やや不満に感じる	不満である	利用したことがない	親切丁寧でない・態度が悪い	体の状態が悪くなった	予定時間を守ってくれない	サービスの質が悪い	施設の環境・設備が悪い	経済的負担が増えた	その他	1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	2. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	3. 訪問看護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	4. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	5. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	6. 通所リハ(デイケア)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	7. 特養への短期入所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8. 老健施設への短期入所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	9. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	10. 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	11. 介護老人福祉施設(特養)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	12. 介護老人保健施設	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	13. 介護療養型医療施設	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	サービス種類	不満足な理由	その他					
サービスの種類	満足度						不満足な理由																																																																																																																																																																																																																															
	満足している	ほぼ満足している	どちらでもない	やや不満に感じる	不満である	利用したことがない	親切丁寧でない・態度が悪い	体の状態が悪くなった	予定時間を守ってくれない	サービスの質が悪い	施設の環境・設備が悪い	経済的負担が増えた	その他																																																																																																																																																																																																																									
1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
2. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
3. 訪問看護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
4. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
5. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
6. 通所リハ(デイケア)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
7. 特養への短期入所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
8. 老健施設への短期入所	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
9. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
10. 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
11. 介護老人福祉施設(特養)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
12. 介護老人保健施設	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
13. 介護療養型医療施設	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																																																																									
サービス種類	不満足な理由																																																																																																																																																																																																																																					
その他																																																																																																																																																																																																																																						
16	サービス計画に対する満足度	満足している やや不満に感じている ~ を回答した場合は No.18へ	ほぼ満足している 不満である	どちらでもない																																																																																																																																																																																																																																		
17	16の不満足に感じた理由 <input type="checkbox"/> 複数可	本人の状態に合った計画でない 本人・家族の意向を反映していない 色々なサービス利用のアドバイスがない 身体状況が変わった時の対応がない その他()																																																																																																																																																																																																																																				

No. 2 1 ~ 2 4 の調査項目は、すべての方が対象です。

21	保険料の負担感 について	無理なく支払える額である 支払が困難な額である	何とか支払える額である わからない
22	現在の保険料の段階 に対する考え方	今のままの設定でよい 低所得層(第1・2段階)の負担額を軽くし,他の段階の負担を増やすべき 低所得層(第1・2段階)と高所得層(第5・6段階)の負担格差を小さくすべき その他() わからない	
23	保険料とサービスの あり方	保険料が高くなってもよいから,サービスを充実させた方がよい 保険料もサービスも現状の程度でよい サービスの水準を今より抑えても,保険料が低くなる方がよい。 その他() わからない	
24	介護保険に 関する要望等	・ 要望等があれば,簡単に記入	

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

以下も忘れずに必ず記入してください。

整 理	S	N	居住地を担当する 地域包括支援センター

本市の高齢化の状況と将来推計について

1 高齢者人口と高齢化率の推移の見通し

- ・ 総人口：503,007人（平成20年3月末現在）
- ・ 65歳以上の高齢者人口：91,566人
- ・ 高齢化率：18.20%（全国平均20.8%, 県平均20.49%）

- ・ 総人口は、平成20年3月末現在、50万3千7人であり、将来人口は、国や県が既に減少しているなか、今後も緩やかに人口増加を続け、平成22年には、現在よりも6,641多い、約50万9千6百人になると見込まれている。
- ・ 高齢者人口は、約9万1千人であり、平成23年は約1万人多い約10万1千人に達すると見込まれている。
- ・ 高齢化率は、18.20%と全国平均より2.6ポイント、県平均より2.29ポイント低くなっているが、平成23年には19.80%に達すると見込まれている。

○ 人口の推移（資料：宇都宮市「住民基本台帳人口」）

区 分	平成17年	平成18年	平成19年
総人口（年度末）	452,310人	500,215人	503,007人
高齢者人口	77,440人	88,646人	91,566人
高齢化率	17.12%	17.72%	18.20%
うち後期高齢者人口	33,961人	39,270人	40,904人
高齢者人口に占める 後期高齢化率	43.85%	44.30%	44.67%

○ 推計人口（資料：平成20年3月 「第5次宇都宮市総合計画」）

区 分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
推計総人口	507,976人	508,812人	509,648人	510,157人
高齢者人口	93,782人	95,811人	97,840人	101,014人
高齢化率	18.46%	18.8%	19.20%	19.80%
うち後期高齢者人口	41,752人	42,734人	43,714人	45,168人
高齢者人口に占める 後期高齢化率	44.52%	44.60%	44.68%	44.71%

2 高齢者のいる世帯の状況

- ・ 総世帯数：196,732世帯（平成17年）
- ・ 65歳以上の高齢者のいる世帯数：57,236世帯
- ・ 総世帯数に占める高齢者のいる世帯の割合：29.09%
（全国平均38.5%，県平均36.9%）

- ・ 本市の総世帯数は、平成12年の約18万世帯から、平成17年には約19万6千世帯に増加しており、平成34年には、約21万9千世帯まで増加すると見込まれている。
- ・ 65歳以上の高齢者のいる世帯数は、平成12年の4万8千世帯から平成17年には約5万7千世帯と総世帯数の増加よりも急激に増加を続けており、総世帯数に占める割合も29.09%という状況にあるものの、全国平均や県平均よりは下回っている。
- ・ 高齢者の属する世帯の内訳を見てみると、子ども等との同居世帯が減少する一方、夫婦のみ世帯や、ひとり暮らし世帯が急増しており、核家族化が顕著に現れている。

○ 高齢者世帯数の推移（資料：総務省統計局「国勢調査」 1市2町合計により作成）

区 分		平成12年	平成17年
総世帯数		180,796世帯	196,732世帯
65歳以上の高齢者の世帯 (高齢者世帯の割合)		48,543世帯 (26.85%)	57,236世帯 (29.09%)
核家族 世帯	高齢者夫婦の世帯	11,631世帯	14,469世帯
	それ以外の核家族世帯	9,027世帯	12,252世帯
高齢者の単身世帯		8,312世帯	11,304世帯
子と同居している世帯		19,506世帯	19,125世帯
親族以外と同居している世帯		67世帯	86世帯

○ 総世帯数の推移（資料：「住民基本台帳」）

	平成18年	平成19年	平成20年
宇都宮市	(197,708世帯)	201,781世帯	205,784世帯
旧宇都宮市	183,283世帯		
旧上河内町	2,722世帯		
旧河内町	11,703世帯		

○ 総世帯数の推計（資料：平成20年3月 「第5次宇都宮市総合計画」）

	平成21年	平成22年	平成23年
総世帯数	205,780世帯	207,150世帯	208,390世帯

3 平均寿命の状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性78.5歳 ， 女性85.7歳（平成17年 宇都宮市） （全国平均：男性78.5歳 ， 女性85.5歳） （県平均 ：男性78.0歳 ， 女性85.0歳）

- ・ 「市区町村別生命表（平成17年厚生労働省）」によると、本市の平均寿命は、男性78.5歳、女性85.7歳であり、男性については、全国平均同様であり県平均を0.5歳上回っているが、女性については、全国平均を0.2歳、県平均を0.7歳も上回っている。
- ・ 平成12年の同調査結果（男性77.6歳、女性84.6歳）と比較すると、男女ともに伸びており、男性が0.9歳、女性が1.1歳も伸びている。

4 高齢者の就業状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業者数 221,089人（平成17年 宇都宮市） ・ 高齢者の就業者数：14,505人 ・ 高齢者の占める割合：6.5%

- ・ 本市の就業者数は、平成17年では22万1,089人であり、平成12年の22万6,353人から約5,000人減少している。
- ・ 高齢者の就業者は、1万4,505人であり、平成12年の1万3,191人よりも約1,300人も減少している。
- ・ 就業者全体に占める高齢者の割合は6.5%であり、平成12年の5.8%よりも増加している。産業別では、農業の平均年齢が60歳であり、就業者に占める高齢者の割合も41.7%と最も多く、農業従事者の高齢化が現れている。

○ 就業者数及び平均年齢 （資料：平成17年「国勢調査（宇都宮市）」より作成）

	農業	建設業	製造業	卸売・小売	サービス業	その他	総数
就業者総数	5,600人	17,724人	38,669人	42,559人	40,060人	76,477人	221,089人
平均年齢	60.0歳	45.2歳	42.5歳	43.7歳	43.3歳	43.8歳	43.8歳
65歳以上の 就業者数	2,333人	1,107人	1,329人	2,919人	2,654人	4,163人	14,505人
65～74歳	1,542人	989人	1,131人	2,254人	2,218人	3,269人	11,403人
75歳以上	791人	118人	198人	665人	436人	894人	3,102人
高齢者の 占める割合	41.7%	6.2%	3.4%	6.9%	6.6%	5.4%	6.5%

5 要介護認定者（要支援・要介護者）の状況

・ 高齢者人口	： 91,566人（平成20年3月末）
・ 要介護認定者数	： 13,771人
・ 要介護認定率	： 15.04%（国平均16.6%, 県平均14.7%）

- ・ 本市の介護保険制度における要介護認定者数については、平成20年度末現在約1万3千人となっており、平成18年度から266人増加している。
- ・ 高齢者人口に占める要介護認定者数の割合は、15.04%となっており、平成18年度に比べて0.19ポイント減少している。
- ・ 要介護認定者は、平成26年度には、現在よりも約7千人多い約2万人に達し、要介護認定率も18.97%を占め、高齢者の約5人に1人が要介護認定者になると見込まれている。

○ 要介護認定者数の推移（資料：第4次高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画1市2町合計により作成）

項目	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
高齢者数	65,497人	68,060人	70,679人	72,395人	74,696人
要介護認定者数	6,742人	8,251人	9,590人	11,109人	12,197人
要介護認定率	10.29%	12.12%	13.57%	15.34%	16.33%

区分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年 見込み	平成26年 見込み
高齢者数	77,440人	88,646人	91,566人	94,306人	110,533人
要介護認定者数	12,127人	13,505人	13,771人	15,632人	20,963人
要介護認定率	15.66%	15.23%	15.04%	16.58%	18.97%

○ 要支援・要介護高齢者数の推移

区分		平成18年	平成19年	平成20年 見込み	平成26年 見込み
要 介 護 認 定 者	要支援1	1,514人	1,507人	2,660人	3,854人
	要支援2	1,625人	2,090人	2,957人	3,958人
	要介護1	2,997人	2,340人	1,983人	2,647人
	要介護2	2,189人	2,420人	2,294人	2,941人
	要介護3	2,024人	2,133人	2,016人	2,634人
	要介護4	1,754人	1,857人	1,943人	2,568人
	要介護5	1,402人	1,424人	1,779人	2,361人
	合計	13,505人	13,771人	15,632人	20,963人